マニフェスト工程計画

（令和５年度～令和９年度）

自己評価表

元気なとよかわ　子育てにやさしく　人が集うまち

令和７年７月

豊川市

1　マニフェスト工程計画自己評価表について

マニフェスト工程計画自己評価表（令和７年７月）は、令和６年２月に発表したマニフェスト工程計画について、これまでの実施状況や本年度の取組内容を明らかにするとともに、工程計画に対する事業の進捗や成果を踏まえて、市長が自己評価をしたものです。

2　自己評価評点について

提案事業ごとの自己評価の評点については、概ね下記の基準としています。

点数	基準
5	工程計画を実行し、事業の完了または目的達成
4	工程計画より早い又は内容（効果）を超えた事業の進捗
3	工程計画どおりの事業の進捗
2	工程計画より遅い又は内容に満たない事業の進捗
1	工程計画よりかなり遅い又は内容に満たない事業の進捗

また、基本理念ごとに配点を下記のように定め、合計が１００点になるように調整して、基本理念ごとの評点及び総合評点を算出しています。

基本理念	配点
１　暮らしやすさ第一豊川市	４０点
２　子育て豊川応援団	３０点
３　市民と創る協働と健全財政のまち	３０点

3　マニフェスト項目別評価一覧

総合評点			
R6	R7	R8	R9
７０/100点	72/100点	/100点	/100点

基本理念１　暮らしやすさ第一豊川市

毎年１，０００人の社会増を目指す

R6	R7	R8	R9
27/40点	26/40点	/40点	/40点

		R6 評点	R7 評点	R8 評点	R9 評点
戦略１	**雇用の創出など人口増施策【人口増】**				
提案1	愛知御津駅橋上化建設整備（継続）	3	3		
提案2	新規工業団地整備（白鳥地区、豊川為当 IC 地区）	3	3		
提案3	市長自らによる企業誘致トップセールス（継続）	4	4		
提案4	「もっと、ずっと、豊川。」発信プロジェクト	3	3		
提案5	市営住宅跡地を始めとする市有地の宅地分譲（継続）	3	3		
提案6	新規土地区画整理事業適地調査	3	3		
戦略２	**活気みなぎる元気なまち【産業・観光】**				
提案7	商工会議所・商工会・農協と連携した産業支援（継続）	3	3		
提案8	スタートアップ支援事業	3	3		
提案9	農業基盤整備の促進	3	2		
提案10	バラを始め豊川ブランドの全国 PR（継続）	4	4		
提案11	豊川稲荷御開帳に向けた基盤整備	3	3		
提案12	ホテル・バンケットルーム誘致事業	3	3		
戦略３	**市民の安全・安心を守る【安全・安心・基盤整備】**				
提案13	河川・内水氾濫危険箇所への監視カメラ設置	3	3		
提案14	雨水対策事業の拡充	3	3		

		R6 評点	R7 評点	R8 評点	R9 評点
提案15	無電柱化事業の推進	3	3		
提案16	自転車乗車用ヘルメット着用補助対象の拡大	5	5		
提案17	暫定用途地域解消に向けた基盤整備	3	3		
提案18	町内会要望等住民密着予算の拡充（継続）	4	4		

戦略４　市民が文化とスポーツに親しむ場づくり【文化・スポーツ】

提案19	御油生涯学習センターの建替整備	3	3		
提案20	赤坂の舞台始め地域伝統芸能の活性化	3	3		
提案21	スポーツ・文化活動激励金の増額	5	5		
提案22	リレーマラソン等おもてなし事業の拡充（継続）	3	3		

★愛知県の人口動向統計（あいちの人口：年報）による人口増減推移

（人）

	R1	R2	R3	R4
人口	184,457	184,661	184,572	184,357
自然増減	—	▲355	▲493	▲663
社会増減	—	**559**	**404**	**448**
合計増減	—	204	▲89	▲215
	R5	**R6**	**R7**	**R8**
人口	184,245	183,812		
自然増減	▲902	▲856		
社会増減	**790**	**423**		
合計増減	▲112	▲433		

※Ｒ６…令和６年 12 月発表（令和５年 10 月１日～令和６年９月 30 日）数値
https://www.pref.aichi.jp/uploaded/life/577527_2654122_misc.pdf

【参考：国勢調査人口】

平成 27 年	182, 436
令和２年	184, 661
増減	2, 225

基本理念２　子育て豊川応援団

日本一子育てしやすいまち

R6	R7	R8	R9
23/30点	24/30点	/30点	/30点

		R6 評点	R7 評点	R8 評点	R9 評点
戦略５	**子育て世代を全力で応援【子育て支援】**				
提案23	高校3年生世代までの通院医療費無料化	5	5		
提案24	保育園・幼稚園給食費無料化	5	5		
提案25	ファーストバースデーお祝い金の4年間延長	5	5		
提案26	民間も含めた保育園の計画的な建替整備（継続）	3	3		
提案27	私立幼稚園入園応援金支給事業	3	5		
戦略６	**子どもたちに希望を与える教育【教育】**				
提案28	小坂井中学校整備事業	3	3		
提案29	小中学校特別教室空調設備設置事業	3	4		
提案30	教員働き方改革推進のため部活動外部指導者等の拡充	3	3		
提案31	スクールソーシャルワーカーの増員	3	3		
提案32	地産地消の推進と学校給食費据え置き（物価高騰分公費負担）	4	4		
戦略７	**安心して暮らせるぬくもりのまち【健康福祉】**				
提案33	シルバー人材センター事業への支援拡充（継続）	4	4		
提案34	福祉タクシー・重度障害者用タクシー助成制度の拡充	5	5		
提案35	障がい者サポート店舗への改修費助成事業	3	3		
提案36	コミュニティソーシャルワーカーの増員	3	3		
提案37	成人歯科健診検査項目（パノラマ撮影）増設	5	5		

基本理念３　市民と創る協働と健全財政のまち

市民が主役の市政を進める

R6	R7	R8	R9
20/30点	22/30点	/30点	/30点

戦略８　市民の主体的な活動を応援

【市民との協働】

		R6 評点	R7 評点	R8 評点	R9 評点
提案38	消防団員・交通指導隊員等の処遇改善（継続）	3	4		
提案39	消防団長沢分団詰所建替整備	3	4		
提案40	町内会役員負担軽減事業	3	3		
提案41	ボランティア・地域貢献企業マッチングシステムの構築	3	3		

戦略９　みんなで行動する環境のまち【環境】

提案42	住宅用地球温暖化対策設備等への補助拡充	4	4		
提案43	次世代自動車購入費補助	5	5		
提案44	中小企業向け省エネセミナー開催	3	3		
提案45	公共施設のカーボンニュートラル推進	3	3		
提案46	パーク・アンド・ライドの推進（継続）	3	4		

戦略１０　行財政改革と健全財政の堅持【行財政運営】

提案47	職員の適正配置と職員研修の充実	3	3		
提案48	ファシリティマネジメント（一宮地区公共施設再編事業）	3	3		
提案49	合併推進債を活用した本庁舎建替整備	3	3		
提案50	臨時財政対策債（赤字地方債）未発行	5	5		

4 マニフェスト工程計画自己評価表の見方

基本理念1　暮らしやすさ第一豊川市　　戦略2　活気みなぎる元気なまち

提案7

1. 工程計画

提 案 7	商工会議所・商工会・農協と	署 産業環境部商工観光課・農務課
実施内容	各種経済団体と連携して、産業及び農業支援のあり方を検討し、商工業、農業の振興に資する取組を実施します。	

工程計画

令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度
産業支援あり方検討会の開催				
		新たな商工業支援事業の実施		
農業担い手育成総合支援協議会の開催				
3.0	3.0			
3.0	1.0			

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響

令和６年２月公表の工程計画を記載しています。

・・・・・・・【水色】検討、調整、準備、段階的実施
>>>>>>【薄青色】既存の取組
>>>>>>【濃青色】マニフェストによる新規の取組
>>>>>>【薄緑色】前マニフェストから引き続き実施する既存の取組
>・>・>・>【緑色】既存の取組をマニフェストにより拡充する取組

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
産業支援あり方検討会及び農業担い手育成総合支援協議会実施回数	目標		3回	3回	2回	2回
	実績		4回	(4回)		
新たな農業支援事業(担い手育成総合支援事業)制度利用者数	目標			8人	8人	8人
	実績					
	目標					
	実績					

事業実施状況の年度ごとの活動指標やスケジュールの目標・実績が記載されています。実績の（　）は令和７年度予算に計上された活動予定の数です。

3. 進捗状況

前年度までの実施状況

【産業支援あり方検討会】市内経済団体
(事業承継対策、条例制定、BCP作成、商工会
施に向けて検討を進め、新たに支援内容を決定した。
【農業担い手育成総合支援協議会】令和5年度及び6
支援事業補助金を新設するとともに、国の制度を活用し
令和6年度は、農業関係団体等と協議の上、新規就農
新たな補助制度を構築した。

令和６年度（一部の事業は令和７年度の６月）までの実施状況と、令和７年度以降の取組内容・方針を記載しています。

今年度以降の取組予定

【産業支援あり方検討会】引き続き各種団体と連携しながら、4つのテーマごとの問題解決に向け調査・検討を進めていくとともに、事業承継対策について、相談会等を実施する。
【豊川市農政企画協議会(旧:農業担い手育成総合支援協議会)】新規就農者の育成に主眼を置いた農業担い手育成総合支援協議会を、販路開拓、トップセールス、加工品開発事業等の農業支援を複合的に実施する農政企画協議会へ統合し、総合的な農業支援体制の強化を図るとともに、補助事業の活用促進を目指す。

4. 評価

進捗状況に対する自	評点	
工程計画に沿って進んでいると評価する。	R6	3
	R7	3
	R8	
	R9	

事業実施による成果や自己評価の内容を記載しています。

1～5 点の自己評価評点を記載しています。

基本理念1　暮らしやすさ第一豊川市

戦略1　雇用の創出など人口増施策

提案1

1. 工程計画

提 案 1	愛知御津駅橋上化建設整備（継続）	担当部署	都市整備部市街地整備課
実施内容	令和10年度の供用開始を目指し、愛知御津駅の橋上化整備を進めます。		

工程計画				
令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度
自由通路及び橋上駅舎化詳細設計 >>>>>>>	>>>>>>>	>>>>>>>	>>>>>>>	
	自由通路及び橋上駅舎化整備工事 >>>>>>>	>>>>>>>	>>>>>>>	>>>>>>>
	周辺整備工事（仮設道路等） >>>>>>>	>>>>>>>	>>>>>>>	>>>>>>>
23.6	237.2	613.6	615.4	926.2
7.7	111.0			

※上段数値は事業費見込み額（予定する予算額又は影響額）。下段は決算額。（単位：百万円）

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
自由通路及び橋上駅舎化整備工程	目標	詳細設計	詳細設計・工事	詳細設計・工事	詳細設計・工事	工事
	実績	詳細設計	詳細設計・工事	（詳細設計・工事）		
	目標					
	実績					
	目標					
	実績					

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
JR東海と令和5年5月に設計協定を、令和6年10月に工事協定を締結し、自由通路新設及び橋上駅舎整備に着手した。 自由通路新設及び橋上駅舎化工事の着手に先立ち、駅南側のう回路整備、用地買収、暫定駅前広場の詳細設計を実施した。
今年度以降の取組予定
設計協定及び工事協定に基づき、詳細設計や、本体工事に先立つ仮駅舎の整備を進め、令和10年度の自由通路供用開始を目指す。また、自由通路整備に合わせ、暫定駅前広場の整備や用地買収を実施する。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
工程計画に沿って進んでいると評価する。	R6	3
	R7	3
	R8	
	R9	

基本理念1　暮らしやすさ第一豊川市

戦略1　雇用の創出など人口増施策

提案2

1. 工程計画

提 案 2	新規工業団地整備（白鳥地区、豊川為当ＩＣ地区）	担当部署	産業環境部企業立地推進課
実施内容	新規工業団地の整備に係る調査・設計、工事、関係機関等との調整を実施します。		

工程計画				
令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度
【白鳥地区】周辺道路整備に係る設計・関係機関協議			周辺道路整備に係る工事	
>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>	>>>>>
【豊川為当IC地区】開発に伴う調査・関係機関協議・設計				
>>>>>>	>>>>>	>>>>>	>>>>>	>>>>>
45.5	27.2	未定	未定	未定
37.5	21.0			

※上段数値は事業費見込み額（予定する予算額又は影響額）。下段は決算額。（単位：百万円）

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
白鳥地区整備工程	目標	周辺道路整備設計	周辺道路整備設計	周辺道路整備設計	周辺道路整備工事	周辺道路整備工事
	実績	周辺道路整備設計	周辺道路整備設計	(関係機関協議)		
豊川為当IC地区整備工程	目標	関係機関協議	周辺道路整備設計	周辺道路整備設計	関係機関協議	周辺道路整備設計
	実績	関係機関協議	周辺道路整備設計	(周辺道路整備設計)		
	目標					
	実績					

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
【白鳥地区】令和6年7月に愛知県企業庁と開発基本協定を締結し、開発区域内の全ての用地取得が完了するとともに周辺道路整備の詳細設計を実施した。 **【豊川為当IC地区】**令和6年度は、周辺道路整備の概略設計を行うとともに、工業団地整備に向けての協議を行った。その結果、令和7年3月に県警との公安協議を行うとともに、愛知県企業庁の第1回用地造成事業審査会を通過し開発検討地区へ位置づけられた。
今年度以降の取組予定
【白鳥地区】 愛知県企業庁が実施する造成詳細設計及び工事が円滑に実施できるように関係機関協議等への支援を行う。 **【豊川為当IC地区】** 引き続き関係機関との協議を実施するとともに、地権者からの開発事業に対する同意取得を進める。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
工程計画に沿って進んでいると評価する。	R6	3
	R7	3
	R8	
	R9	

基本理念1　暮らしやすさ第一豊川市

戦略1　雇用の創出など人口増施策

提案3

1. 工程計画

提 案 3	市長自らによる企業誘致トップセールス（継続）	担当部署	産業環境部企業立地推進課
実施内容	企業誘致に向け、市長が各企業へトップセールスを実施します。		

工程計画				
令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度
産業立地セミナーや個別企業訪問等でトップセールスを実施				
>>>>>>	>・>・>・>	>・>・>・>	>・>・>・>	>・>・>・>
0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
0.1	0.1			

※上段数値は事業費見込み額（予定する予算額又は影響額）。下段は決算額。（単位：百万円）

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
トップセールス実施回数	目標	2回	5回	5回	5回	5回
	実績	3回	5回	(5回)		
	目標					
	実績					
	目標					
	実績					

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
愛知県主催のセミナーと豊川市企業立地情報交換会において、市長プレゼンテーション（各1回）を実施するとともに、市長自ら3社の企業訪問を行い、御津1区（2期エリア）へ令和5年度は1社、令和6年度は2社の企業進出につながった。
今年度以降の取組予定
引き続き愛知県主催のセミナー等に積極的に参加し、市長自ら企業誘致プレゼンテーションを実施する。また、工場等の建設を検討する企業への市長訪問については継続して行い、企業誘致を目指す。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
工程計画に沿って事業を実施し、トップセールスが企業進出につながる等、マニフェストの事業効果を発揮できていると評価する。	R6	4
	R7	4
	R8	
	R9	

提案4

1. 工程計画

提 案 4	「もっと、ずっと、豊川。」発信プロジェクト	担当部署	企画部元気なとよかわ発信課・情報政策課
実施内容	移住情報を含めた魅力発信を行うシティセールスとして、「もっと、ずっと、豊川。」発信プロジェクトを展開します。		

工程計画				
令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度
移住定住等イベント出展 >>>>>>	>・>・>・>	>・>・>・>	>・>・>・>	>・>・>・>
	移住情報を含めた魅力発信事業 >>>>>	>>>>>	>>>>>	>>>>>
	市民や市にゆかりのある方と連携した魅力発信事業 >>>>>	>>>>>	>>>>>	>>>>>
14.1	21.6	15.0	15.7	14.9
13.5	18.3			

※上段数値は事業費見込み額（予定する予算額又は影響額）。下段は決算額。（単位：百万円）

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
移住定住等イベントへ出展回数	目標	1回	2回	2回	2回	2回
	実績	2回	2回	（3回）		
移住情報を含めた魅力発信事業	目標		1式	1式	1式	1式
	実績		1式	（1式）		
市民や市にゆかりのある方と連携した魅力発信事業の実施回数	目標	0回	8回	5回	5回	5回
	実績	1回	10回	（8回）		

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
【移住定住等イベント出展】 豊川市移住・定住サイトで紹介している方々に出演していただき、豊川市の魅力を生の声で語っていただく「CITY AND PEOPLE展」（イオンモール豊川）の開催や国内最大級の移住フェアである「ふるさと回帰フェア2024」（東京国際フォーラム）等へ出展し、来場者への豊川市の魅力PRや、移住希望者に対する個別相談等を実施した。 **【魅力発信事業】** 移住情報を含めた魅力発信事業として、移住希望者をターゲットに豊川市の魅力を発信する動画作成・配信のほか、LINEの機能を拡充し、セグメント配信（利用者が希望する分野の情報を選択できる機能）等を活用した情報配信等を実施した。 市民や市にゆかりのある方と連携した魅力発信事業としては、広報大使の協力による活動（映画「マリッジカウンセラー」上映会&トークショー、とよかわ来てみん！、とよかわキャスト、豊川稲荷東京別院節分会、おいでん祭）や、豊川市制施行80周年PRアンバサダー「豊川豊」によるプロモーション等を実施した。
今年度以降の取組予定
【移住定住等イベント出展】 引き続き「CITY AND PEOPLE展」を開催し、「ふるさと回帰フェア」へ出展する。 **【魅力発信事業】** 移住情報を含めた魅力発信事業としては、LINEの友だち登録を増やすとともに、セグメント配信を活用した情報配信等を強化する。市民や市にゆかりのある方と連携した魅力発信事業としては、広報大使の協力を得て、「とよかわ来てみん！」、「とよかわキャスト」の撮影・配信を行う。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
工程計画に沿って進んでいると評価する。	R6	3
	R7	3
	R8	
	R9	

基本理念1　暮らしやすさ第一豊川市

戦略1　雇用の創出など人口増施策

提案5

1. 工程計画

提 案 5	市営住宅跡地を始めとする市有地の宅地分譲（継続）	担当部署	財務部財産管理課 建設部建築課
実施内容	老朽化により廃止予定の市営住宅の入居者移転・解体工事等を行うとともに、未活用市有地の売却を進めます。		

工程計画				
令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度
未活用市有地の売却				
>>>>>>>	>>>>>>>	>>>>>>>	>>>>>>>	>>>>>>>
市営住宅の入居者移転・解体工事等		萩住宅跡地の売却開始		広石住宅跡地の売却開始
>>>>>>>	>>>>>>>	>>>>>>>	>>>>>>>	>>>>>>>
20.3	13.6	39.9	0.1	0.0
20.9	0.4			

※上段数値は事業費見込み額（予定する予算額又は影響額）。下段は決算額。（単位：百万円）

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
未活用市有地の売却工程	目標	鑑定・売却等	鑑定・売却等	鑑定・売却等	鑑定・売却等	鑑定・売却等
	実績	売却	売却	（鑑定・売却等）		
萩住宅移転・解体等工程	目標	解体工事3棟	登記等	鑑定・売却開始		
	実績	解体工事3棟	登記等	（所管替え・売却開始）		
広石住宅移転・解体等工程	目標	入居者移転	入居者移転・解体工事	解体工事	跡地整備・登記等	鑑定・売却開始
	実績	入居者移転	入居者移転	（解体工事）		

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
【未活用市有地の売却】売却に向けた不動産鑑定や入札等を実施し、令和6年度は570.82㎡を宅地利用地として売却した。 **【萩住宅移転・解体等】**令和5年度に行った3棟の解体で全13棟の解体が完了し、令和6年度は土地の分筆登記等を進めた。 **【広石住宅移転・解体等】**令和6年度に最終1戸の移転が終わり、全ての移転が完了した。
今年度以降の取組予定
【未活用市有地の売却】引き続き、広告看板による周知や不動産鑑定等を実施し、売却を進める。 **【萩住宅移転・解体等】**分筆登記後、公有財産の所管替えを実施し、跡地売却を開始する。 **【広石住宅移転・解体等】**全棟の解体工事を実施後、分筆登記等の手続きを行い、令和9年度の跡地売却開始を目指す。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
工程計画に沿って進んでいると評価する。	R6	3
	R7	3
	R8	
	R9	

提案6

1. 工程計画

提 案 6	新規土地区画整理事業適地調査		担当部署	都市整備部区画整理課
実施内容	新規土地区画整理事業の適地調査を進めます。			
工程計画				
令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度
	適地調査の実施 ＞＞＞＞＞	＞＞＞＞＞	＞＞＞＞＞	＞＞＞＞＞
―	3.8	4.8	4.7	5.0
―	10.5			

※上段数値は事業費見込み額（予定する予算額又は影響額）。下段は決算額。（単位：百万円）

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
適地調査工程	目標		適地調査業務	適地調査業務	詳細調査業務	地元意向調査
	実績		適地調査業務	(適地調査業務)		
適地事業化準備工程	目標		測量等調査	土地区画整理設計等	事業認可・施行	事業施行
	実績		測量等調査	(土地区画整理設計等)		
	目標					
	実績					

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
【適地調査工程】市街化区域における低未利用地を対象として調査を実施し、現況調査や分析により適地として選定した区域について、土地区画整理事業の効果及び課題について評価を整理した。 **【適地事業化準備工程】**宿町長者松地区から技術的援助の請求（法律に基づく地権者の仮同意を伴う区画整理整備の要望）が提出され、事業化に必要な測量業務等を実施した。
今年度以降の取組予定
【適地調査工程】令和7年度は、地域拠点駅周辺地区においてコインパーキングや空き家等が面的に散在している「スポンジ化」エリアを対象として適地調査等を実施する。また、令和6年度調査結果による適地について、事業化に向けた地元調整を進める。 **【適地事業化準備工程】**宿町長者松地区の事業化に必要となる事業計画案・定款案・実施計画等を作成し、事業認可申請手続きを進める。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
工程計画に沿って進んでいると評価する。	R6	3
	R7	3
	R8	
	R9	

提案7

1. 工程計画

提 案 7	商工会議所・商工会・農協と連携した産業支援（継続）	担当部署	産業環境部商工観光課・農務課
実施内容	各種経済団体と連携して、産業及び農業支援のあり方を検討し、商工業、農業の振興に資する取組を実施します。		

工程計画				
令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度
産業支援あり方検討会の開催 >>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>
	・・・・・・・	新たな商工業支援事業の実施 >>>>>>	>>>>>>	>>>>>>
農業担い手育成総合支援協議会の開催 >>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>
	・・・・・・・	新たな農業支援事業の実施 >>>>>>	>>>>>>	>>>>>>
3.0	3.0	未定	未定	未定
3.0	1.0			

※上段数値は事業費見込み額（予定する予算額又は影響額）。下段は決算額。（単位：百万円）

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
産業支援あり方検討会及び農業担い手育成総合支援協議会実施回数	目標	3回	3回	3回	2回	2回
	実績	4回	4回	（4回）		
新たな農業支援事業（担い手育成総合支援事業）制度利用者数	目標			8人	8人	8人
	実績			（8人）		
	目標					
	実績					

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
【産業支援あり方検討会】市内経済団体と市で構成する「産業支援あり方検討会」において、令和6年度はこの会で取り組む4つのテーマ（事業承継対策、条例制定、BCP作成、商工会等の合併研究）について、現状の把握や問題点の整理を行うとともに、事業承継対策の実施に向けて検討を進め、新たに支援内容を決定した。 **【農業担い手育成総合支援協議会】**令和5年度及び6年度は農業人材育成を目的とした「就農塾」を実施したほか、新規就農者研修受入支援事業補助金を新設するとともに、国の制度を活用した新規就農者育成総合対策（経営開始資金、経営発展支援事業）等を実施した。令和6年度は、農業関係団体等と協議の上、新規就農者等を対象にした補助メニューを既存農業者に対象を拡大する等の検討を実施し、新たな補助制度を構築した。
今年度以降の取組予定
【産業支援あり方検討会】引き続き各種団体と連携しながら、4つのテーマごとの問題解決に向け調査・検討を進めていくとともに、事業承継対策について、相談会等を実施する。 **【豊川市農政企画協議会（旧：農業担い手育成総合支援協議会）】**新規就農者の育成に主眼を置いた農業担い手育成総合支援協議会を、販路開拓、トップセールス、加工品開発事業等の農業支援を複合的に実施する農政企画協議会へ統合し、総合的な農業支援体制の強化を図るとともに、補助事業の活用促進を目指す。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
工程計画に沿って進んでいると評価する。	R6	3
	R7	3
	R8	
	R9	

提案8

1. 工程計画

提 案 8	スタートアップ支援事業		担当部署	産業環境部商工観光課
実施内容	これまでの創業・起業支援事業に加え、新産業創出に向けたスタートアップ支援を実施します。			

工程計画				
令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度
とよかわ創業・起業支援ネットワークを起点とした創業等支援事業の実施				
>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>
	新事業創出支援セミナー等の実施		新規支援事業の実施	
・・・・・・	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>
3.2	7.5	7.3	未定	未定
3.0	5.6			

※上段数値は事業費見込み額（予定する予算額又は影響額）。下段は決算額。（単位：百万円）

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
創業等支援事業の実施回数	目標	2回	2回	2回	2回	2回
	実績	2回	2回	(2回)		
新事業創出支援セミナー等の実施回数	目標	調査検討	2回	2回	2回	2回
	実績	調査検討	2回	(2回)		
	目標					
	実績					

3. 進捗状況

前年度までの実施状況及び成果
【創業等支援事業】これから創業しようとする方を対象とした創業支援イベントに加え創業後の販路開拓を目的とした支援イベントを同時開催するとともに、市内高校に通う高校生を対象とした創業に関する講義を実施した。 **【新事業創出支援セミナー等】**新たに、市内中小企業等を対象にスタートアップと連携して新事業の創出や自社課題を解決するための機運醸成セミナー、ワークショップを実施するとともに、行政職員を対象に、スタートアップと連携して行政サービスの向上を図るための機運醸成勉強会を実施した。
今年度以降の取組予定
【創業等支援事業】引き続き、創業支援、販路開拓を支援するイベントを実施するとともに、高校生を対象とした講義については実践的な内容を盛り込んだ事業を実施する。 **【新事業創出支援セミナー等】**引き続き、市内中小企業等を対象とする機運醸成セミナー、ワークショップや、行政職員を対象とする機運醸成勉強会を実施する。令和8年度以降は伴走支援まで含めたプログラムとしての実施を目指す。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
工程計画に沿って進んでいると評価する。	R6	3
	R7	3
	R8	
	R9	

提案9

1. 工程計画

提 案 9	農業基盤整備の促進		担当部署	産業環境部農務課
実施内容	愛知県による長沢地区の土地改良事業の採択に向けた調査等を行い、農業基盤整備の促進に取り組みます。			
工程計画				
令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度
調査 >>>>>>	国及び愛知県事業採択に向けた調整 >>>>>	>>>>>	基盤整備開始 >>>>>	>>>>>
3.6	12.4	19.5	5.0	15.0
3.0	12.0			

※上段数値は事業費見込み額（予定する予算額又は影響額）。下段は決算額。（単位：百万円）

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
長沢地区土地改良事業工程	目標	調査	計画構想図作成	国・県審査資料作成	詳細設計（県）	工事（県）
	実績	調査	計画構想図修正中	（計画構想図作成）		
	目標					
	実績					
	目標					
	実績					

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
令和5年度は、計画構想図（案）の作成や営農意向調査を行った。令和6年度は、事業種の再検討や、現地測量による地形図及び現況平面図を作成するとともに、計画構想図（案）の修正を行い、整備の方向性を整理した。
今年度以降の取組予定
令和7年度は、仮同意書の徴収を行い地元の合意形成を図る。埋蔵文化財調査結果による地区設定の見直しに合わせた計画構想図の作成及び設計諸元の検討を行い、令和9年度からの県による事業着手を目指す。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
事業種の再検討等から計画構想図の作成に時間を要しているが、基盤整備に向けた調整が進んでいると評価する。	R6	3
	R7	2
	R8	
	R9	

提案10

1. 工程計画

提 案 10	バラを始め豊川ブランドの全国ＰＲ（継続）	担当部署	産業環境部農務課・商工観光課
実施内容	とよかわブランドに認定された「とよかわバラ」を始めとする農産物や商品の販路開拓等を支援するとともに、県内外の展示会への出展等による全国ＰＲを実施します。		

工程計画				
令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度
とよかわブランド推進事業費補助・県内外の展示会等への出展				
>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>
	首都圏でのトップセールスの実施			
	>>>>>	>>>>>	>>>>>	>>>>>
	とよかわブランド活用イベントの実施			
	>>>>>	>>>>>	>>>>>	>>>>>
2.5	3.5	3.5	3.5	3.5
1.5	2.6			

※上段数値は事業費見込み額（予定する予算額又は影響額）。下段は決算額。（単位：百万円）

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
県内外の展示会等への出展回数	目標	3回	3回	3回	3回	3回
	実績	5回	7回	(3回)		
首都圏でのトップセールスの実施回数	目標	―	1回	1回	1回	1回
	実績	2回	1回	(1回)		
とよかわブランド活用イベント	目標		1回	1回	1回	1回
	実績		1回	(1回)		

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
【とよかわブランド推進事業】令和5年度は、「豊川大葉一ガー」、「豊川大葉ポテト」、「大葉たこせん」等の新商品の開発や「とよかわブランドフェス」の開催等、民間事業者等が行うとよかわブランド商品の販売促進や普及啓発活動を支援した。令和6年度は、とよかわ大葉を使用した「子持ちししゃもの香り巻」、「お茶漬け」や音羽米を使用した「米粉ドーナツ」、「とよかわ生炊佃煮」等の新商品開発を支援した。 **【県内外の展示会等への出展】**令和6年度は、展示会等（東三河FOODDAYS、とよかわ大葉フェスティバル、日本橋イベントスペース、フェニックスDAY、フラワーバレンタインダービー等）に7回出展し、豊川産農産物の販売、配布やPRを実施した。 **【首都圏でのトップセールス】**JAひまわり、東三温室園芸農業協同組合と共同で、大田花き市場・豊洲市場でトップセールスを実施した。
今年度以降の取組予定
【とよかわブランド推進事業】引き続き、民間事業者等が行うとよかわブランド普及・推進活動を支援する。 **【県内外の展示会等への出展回数】**引き続き、県内外での展示会等に出展し、豊川産農産物及び加工品のPR活動を実施する。 **【首都圏でのトップセールス】**豊川産農産物を多く出荷している首都圏の市場で、市長自らによるPR活動を実施する。 **【とよかわブランドイベント】**とよかわブランドをはじめとした市内の観光資源・名産品等を活用したPRによる誘客事業を実施する。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
県内外への展示会等への出展や首都圏でのトップセールスを工程計画以上に実施し、さらにはとよかわブランドを活用した新たな商品が開発される等、マニフェストの事業効果を発揮できていると評価する。	R6	4
	R7	4
	R8	
	R9	

提案11

1. 工程計画

提 案 11	豊川稲荷御開帳に向けた基盤整備	担当部署	都市整備部都市計画課・市街地整備課・公園緑地課 建設部道路河川管理課
実施内容	豊川稲荷の御開帳（午年開帳：令和８年11月、大開帳：令和12年８月～11月）に向けて、門前を中心とした豊川地区の基盤整備を実施します。		

工程計画

令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度
門前周辺の整備 ・・・・・・・・	基本計画 ＞＞＞＞＞ 豊川駅東西自由通路の整備 ・・・・・・・・ 稲荷公園の整備 ・・・・・・・・	実施設計・整備工事 ＞＞＞＞＞ 天井塗装・修繕等 ＞＞＞＞＞ 実施設計 ＞＞＞＞＞ 豊川稲荷前交差点無電柱化 ・・・・・・・	＞＞＞＞＞ ・・・・・・・ 整備工事 ＞＞＞＞＞ 電線共同溝整備設計・工事 ＞＞＞＞＞	エレベーター改修工事 ＞＞＞＞＞ ＞＞＞＞＞
—	37.4	307.3	228.5	150.0
—	24.7			

※上段数値は事業費見込み額（予定する予算額又は影響額）。下段は決算額。（単位：百万円）

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
門前周辺の整備工程	目標	検討・調査	基本計画	実施設計・工事	工事	
	実績	検討・調査	基本計画	(実施設計・工事)		
豊川駅東西自由通路修繕等工程	目標	検討・調査	調査・実施設計	実施設計・天井等修繕	検討・調査	エレベーター改修工事
	実績	検討・調査	調査	(実施設計・天井等修繕)		
稲荷公園の再整備工程	目標		検討・調査	実施設計・工事	工事	
	実績		検討・調査	(実施設計・工事)		

3. 進捗状況

前年度までの実施状況

【門前周辺の整備】令和5年度から開始した関係機関との調整等に加え、令和6年度は地元商店や学生らによるワークショップや、関係機関等への情報共有を目的とした報告会を開催し、基本計画を作成した。
【豊川駅東西自由通路修繕等】令和5年度に行った修繕・改修工程計画の検討をもとに、令和6年度は天井の雨漏り・損傷箇所等の現状調査を実施した。
【稲荷公園の再整備】令和6年度は利用状況調査及び聞き取り調査を行い現況を把握し、実施設計にあたっての基礎資料を作成した。
【豊川稲荷前交差点無電柱化】令和6年度は道路管理者である愛知県と調整等を実施し、市施工で無電柱化を実施するために必要な手続き等を行った。

今年度以降の取組予定

【門前周辺の整備】基本計画に沿った整備内容の実施設計を行った上で工事に着手し、令和8年11月の午年開帳前の竣工を目指す。
【豊川駅東西自由通路修繕等】天井の雨漏り修繕、エスカレーター改修工事等に着手し、順次、改修等を進める。
【稲荷公園の再整備】実施設計を行った後、再整備工事に着手し、令和8年11月の午年開帳前の竣工を目指す。
【豊川稲荷前交差点無電柱化】工事着工に向けた詳細設計を実施し、令和8年度の工事着手を目指す。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
工程計画に沿って進んでいると評価する。	R6	3
	R7	3
	R8	
	R9	

提案12

1. 工程計画

提 案 12	ホテル・バンケットルーム誘致事業	担当部署	産業環境部商工観光課
実施内容	ホテルやバンケットルーム出店者に対する支援制度を創設し、誘致に向けたＰＲ活動を実施します。		

工程計画				
令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度
・・・・・・・	支援制度の創設、誘致・PR活動開始 ＞＞＞＞＞	＞＞＞＞＞	＞＞＞＞＞	＞＞＞＞＞
―	―	―	未定	未定
―	―			

※上段数値は事業費見込み額（予定する予算額又は影響額）。下段は決算額。（単位：百万円）

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
支援制度の創設・誘致PR活動工程	目標	制度検討	制度創設・誘致PR活動	誘致PR活動	誘致PR活動	誘致PR活動
	実績	制度検討	制度創設・誘致PR活動	（誘致PR活動）		
交付対象事業者の認定	目標			1件		
	実績			（1件）		
	目標					
	実績					

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
令和5年度は近隣市の状況等の調査を踏まえた補助対象や補助額等の検討を行い、令和6年度にホテル・バンケットルーム出店奨励金交付制度を創設した。 誘致に向けて、メッセ名古屋でのPRやホテル事業者にDMを送付するなど、支援制度のPRを行うとともに、事業予定者から事前相談を受けた。
今年度以降の取組予定
奨励金交付制度に基づき、交付対象事業者の認定を行うとともに、引き続き、誘致に向けて支援制度のPR活動を実施する。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
工程計画に沿って進んでいると評価する。	R6	3
	R7	3
	R8	
	R9	

提案13

1. 工程計画

提 案 13	河川・内水氾濫危険箇所への監視カメラ設置	担当部署	建設部道路河川管理課
実施内容	道路冠水や河川越水の想定箇所に、監視カメラを増設します。		

工程計画				
令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度
河川及び冠水監視カメラの増設 >>>>>>	>>>>>	>>>>>	>>>>>	>>>>>
6.0	6.5	6.5	6.5	6.5
5.4	5.9			

※上段数値は事業費見込み額（予定する予算額又は影響額）。下段は決算額。（単位：百万円）

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
監視カメラ増設箇所数	目標	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所
	実績	2箇所	2箇所	（2箇所）		
	目標					
	実績					
	目標					
	実績					

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
河川水位監視カメラを、令和5年度に向山橋（諏訪川）、令和6年度に四ツ家橋（帯川）に設置、また道路冠水監視カメラを令和5年度に蔵子地区（蔵子一丁目信号交差点）、令和6年度に新道地区（文化会館入口信号交差点）に設置し、各年度1箇所ずつ計2箇所を設置できた。
今年度以降の取組予定
令和7年度以降、河川水位監視カメラを裏大橋（西古瀬川）、新川橋（佐奈川）、新切橋（帯川）に、道路冠水監視カメラを小田渕町地区、蔵子地区、伊奈町地区に、各年度に1箇所ずつ（計2箇所）計画的に設置する。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
工程計画に沿って進んでいると評価する。	R6	3
	R7	3
	R8	
	R9	

提案14

1. 工程計画

提 案 14	雨水対策事業の拡充	担当部署	上下水道部下水整備課 建設部道路河川管理課 危機管理課
実施内容	雨水浸透施設の整備等を進めるとともに、内水ハザードマップを作成します。		

工程計画				
令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度
雨水浸透施設（トレンチ管）の設置 >>>>>>>	>>>>>>>	設置区域の拡充 >・>・>・>	>・>・>・>	>・>・>・>
雨水浸透施設等設置費補助 >>>>>>	補助の拡充 >・>・>・>	>・>・>・>	>・>・>・>	>>>>>>>
		内水ハザードマップの作成・配布 >>>>>		
	新たな貯留・浸透施設等の検討 ・・・・・・・	・・・・・・・	・・・・・・・	・・・・・・・
33.8	37.3	48.9	39.8	36.1
5.4	37.0			

※上段数値は事業費見込み額（予定する予算額又は影響額）。下段は決算額。（単位：百万円）

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
雨水浸透施設（トレンチ管）各年度整備量	目標	350m	350m	450m	450m	450m
	実績	44m	297m	（450m）		
雨水浸透ます設置費補助の拡充 ※単位は1基あたり	目標	上限2万円	上限3万円	上限3万円	上限3万円	上限2万円
	実績	上限2万円	上限3万円	（上限3万円）		
雨水貯留施設設置費補助の拡充 ※単位は1基あたり	目標	上限3.3万円	上限4.95万円	上限4.95万円	上限4.95万円	上限3.3万円
	実績	上限3.3万円	上限4.95万円	（上限4.95万円）		

3. 進捗状況

前年度までの実施状況

【雨水浸透施設（トレンチ管）の設置】資材高騰等の影響から目標通りの延長を整備できていないが、令和5年度は44m、令和6年度297mの整備を実施した。
【雨水浸透施設等設置費補助】個人宅内等に設置して雨水の流出を軽減する、雨水浸透ます及び雨水貯留施設設置費補助制度について、近隣市の状況等を踏まえ、令和6年度は補助額増額の制度改正を実施した。
【内水ハザードマップの作成・配布】近隣市町村が作成したハザードマップを収集し、令和7年度の配布に向けて仕様を検討した。
【新たな貯留・浸透施設等の検討】近隣市町へヒアリング等を実施し、今後の雨水対策事業について検討した。

今年度以降の取組予定

【雨水浸透施設（トレンチ管）の設置】豊川市雨水浸透施設設置事業実施計画の変更による設置区域を拡充し、国庫補助金の確保と共に事業費を増額して整備を実施する。
【雨水浸透施設等設置費補助】拡充した補助内容の周知・PRを実施し、申請件数の増加と雨水流出の軽減を図る。
【内水ハザードマップの作成・配布】令和7年度に、内水ハザードマップの作成と全戸配布を実施する。
【新たな貯留・浸透施設等の検討】新たな雨水対策事業に関する対策案等の検討を両課連携して実施する。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
工程計画に沿って進んでいると評価する。	R6	3
	R7	3
	R8	
	R9	

提案15

1. 工程計画

提 案 15	無電柱化事業の推進	担当部署	都市整備部市街地整備課
実施内容	市道の無電柱化を推進するとともに、愛知県が施工する姫街道線の無電柱化の促進に取り組みます。		

工程計画				
令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度
市道前田豊川線の無電柱化 >>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>
姫街道線の無電柱化促進 >>>>>>	>>>>>>	次期無電柱化候補路線の検討（候補路線の抽出・愛知県無電柱化計画との調整等） ・・・・・・ >>>>>>	>>>>>>	>>>>>>
15.1	21.1	232.1	203.1	0.1
13.3	19.3			

※上段数値は事業費見込み額（予定する予算額又は影響額）。下段は決算額。（単位：百万円）

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
前田豊川線無電柱化工程	目標	予備設計	詳細設計	工事	工事	抜柱
	実績	予備設計	詳細設計	（詳細設計）		
次期無電柱化候補路線の調査検討	目標			調査検討	調査検討	調査検討
	実績			（調査検討）		
姫街道線無電柱化（県事業）に係る県との連携	目標	要望・進捗把握等	要望・進捗把握等	要望・進捗把握等	要望・進捗把握等	要望・進捗把握等
	実績	要望・進捗把握等	要望・進捗把握等	（要望・進捗把握等）		

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
【前田豊川線】令和5年度に実施した予備設計を踏まえ、令和6年度は、豊川稲荷前交差点から幸町交差点までの工事着手に向けた詳細設計や、電線事業者、関係機関との調整を実施した。 **【姫街道線】**県に対して随時の要望活動や連絡・調整を実施した。令和5年度から諏訪橋西交差点から警察署南交差点間の工事着手に向けた各種法律に基づく手続きが進められ、令和6年度に諏訪橋西交差点から警察署南交差点間の区間において、支障移転工事に着手した。
今年度以降の取組予定
【前田豊川線】歩道拡幅に係る関連事業の影響が生じたことから、令和7年度も引き続き詳細設計を実施し、令和8年度の工事着手を目指す。 **【姫街道線】**引き続き、県に対して要望活動や連絡・調整を実施する。令和7年度以降、引き続き支障移転工事や、電線共同溝本体工事の着工に向けた事務手続きが県により進められる。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
歩道拡幅に係る関連事業の影響から詳細設計を引き続き行い、前田豊川線の無電柱化に向けて進捗をできていると評価する。	R6	3
	R7	3
	R8	
	R9	

提案16

1. 工程計画

提 案 16	自転車乗車用ヘルメット着用補助対象の拡大	担当部署	市民部人権生活安全課
実施内容	自転車乗車用ヘルメット着用促進補助事業を、対象者を拡大して実施します。		

工程計画				
令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度
児童生徒等・高齢者対象 >>>>>>>	全年齢対象 >・>・>・>	>・>・>・>	>・>・>・>	
4.4	7.0	7.0	7.0	
3.8	3.6			

※上段数値は事業費見込み額（予定する予算額又は影響額）。下段は決算額。（単位：百万円）

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
自転車乗車用ヘルメット着用促進補助件数	目標	2,246件	3,500件	3,500件	3,500件	
	実績	2,008件	1,843件	(3,500件)		
	目標					
	実績					
	目標					
	実績					

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
令和5年度は児童・生徒等及び高齢者を限定補助対象として、2,008件の補助を実施した。令和6年度からは全年齢対象とし、1,843件の補助を実施した。（補助上限額2,000円／人）
今年度以降の取組予定
引き続き全年齢を対象に補助を実施する。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
令和7年度当初予算においても引き続き全年齢を対象とする補助に係る経費を計上して実施していることから、提案を実現できていると評価する。	R6	5
	R7	5
	R8	
	R9	

1. 工程計画

提 案 17	暫定用途地域解消に向けた基盤整備	担当部署	都市整備部都市計画課・市街地整備課
実施内容	市内に数多く残る暫定用途地域の解消に向けて、調査検討、測量、道路改良工事等の基盤整備を進めます。		

工程計画

令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度
【平尾地区】地区計画道路整備（拡幅改良工事）>>>>>>	>>>>>>			
【上宿地区】地籍調査 >>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>
			地区計画道路整備（設計・土地購入等）＞＞＞＞＞＞	＞＞＞＞＞＞
【国府高畑地区】都市計画決定手続き >>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	地区計画道路整備（設計・土地購入等）＞＞＞＞＞＞	＞＞＞＞＞＞
【新規地区】	土地利用促進検討業務 ＞＞＞＞＞＞	庁内検討・関係機関協議等 ＞＞＞＞＞＞	＞＞＞＞＞＞	＞＞＞＞＞＞
52.9	64.9	26.2	42.1	136.7
46.8	53.0			

※上段数値は事業費見込み額(予定する予算額又は影響額)。下段は決算額。(単位:百万円)

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
上宿地区地籍調査	目標	0.13k㎡	0.23k㎡	0.23k㎡		
	実績	0.13k㎡	0.23k㎡	(0.23k㎡)		
上宿地区道路整備	目標				設計	120m
	実績					
国府高畑地区道路整備	目標	地元説明等	都市計画決定手続き	都市計画決定手続き	設計	210m
	実績	地元説明等	都市計画決定手続き	―		

3. 進捗状況

前年度までの実施状況

【平尾地区】区画道路1号線及び2号線の拡幅改良工事を実施し、供用開始した。
【上宿地区】令和5年度は、0.13k㎡、令和6年度は、0.23k㎡の地籍調査を実施した。
【国府高畑地区】令和5年度に地元勉強会を開催して、都市計画決定を行う｢地区計画｣案の説明･周知を実施し、令和6年度の法定説明会、縦覧等の手続きを経て、都市計画決定(変更)の告示を行った。
【新規地区】為当地区及び国府岡本地区において、現況調査や将来の土地利用手法の可能性等を調査した。

今年度以降の取組予定

【上宿地区】引き続き地籍調査を実施し、令和8年度以降の基盤整備(道路拡幅改良工事等)の実施を目指す。
【国府高畑地区】現地確認をしながら、基盤整備に向けた準備を行う。
【新規地区】令和6年度の成果を踏まえ、為当地区及び国府岡本地区において関係部署と庁内検討を行い、土地利用手法の方策を検討する。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
工程計画に沿って進んでいると評価する	R6	3
	R7	3
	R8	
	R9	

1. 工程計画

提 案 18	町内会要望等住民密着予算の拡充（継続）	担当部署	建設部道路建設課・道路河川管理課
実施内容	町内会要望に基づく道路拡幅等改良工事やカーブミラー等の整備を拡充して実施します。		

工程計画				
令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度
>>>>>>	改良工事等予算の拡充 >・>・>・>	>・>・>・>	>・>・>・>	>・>・>・>
329.7	379.7	379.7	379.7	379.7
363.4	364.7			

※上段数値は事業費見込み額（予定する予算額又は影響額）。下段は決算額。（単位：百万円）

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
道路拡幅改良工事及びカーブミラー等整備の予算増額（令和5年度当初予算対比）	目標	—	5,000万円	5,000万円	5,000万円	5,000万円
	実績	—	5,000万円	(5,000万円)		
【参考】町内会要望に基づく改良工事等の件数（設計等委託件数を含む。）	目標	—	—	—	—	—
	実績	311件	223件			
	目標					
	実績					

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
令和5年度と比べ、道路拡幅等改良工事2件、カーブミラー設置10基等の町内会要望に基づく整備を多くすることができた。
今年度以降の取組予定
引き続き、予算を確保し、町内会要望に対応する。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
令和7年度当初予算においても住民密着予算拡充を継続しており、マニフェストの事業効果を発揮できていると評価する。	R6	4
	R7	4
	R8	
	R9	

1. 工程計画

提 案 19	御油生涯学習センターの建替整備	担当部署	教育委員会生涯学習課
実施内容	文化・学習活動の拠点である御油生涯学習センターの建替整備を実施します。		

工程計画				
令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度
	御油生涯学習センター建替整備 ＞＞＞＞＞	＞＞＞＞＞	＞＞＞＞＞	＞＞＞＞＞
―	89.5	26.8	335.0	176.2
―	86.7			

※上段数値は事業費見込み額（予定する予算額又は影響額）。下段は決算額。（単位：百万円）

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
御油生涯学習センターの建替整備工程	目標		用地購入・基本設計	実施設計	建替工事	建替工事
	実績		用地購入・基本設計	（実施設計）		
	目標					
	実績					
	目標					
	実績					

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
地元や関係者との調整を行いながら用地取得の承諾を得て、令和5年度に近隣住民への説明会を実施し、令和6年度に用地購入と基本設計を行った。
今年度以降の取組予定
工事に着手するための実施設計を行い、令和9年秋頃の供用開始を目指す。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
工程計画に沿って進んでいると評価する。	R5	3
	R6	3
	R7	
	R8	

提案20

1. 工程計画

提 案 20	赤坂の舞台始め地域伝統芸能の活性化	担当部署	教育委員会生涯学習課
実施内容	赤坂の舞台を始めとする地域伝統芸能の活性化に向けた取組に対する支援を拡充します。		

工程計画				
令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度
赤坂の舞台を活用した伝統芸能公演				
>>>>>>>	>>>>>>>	>>>>>>>	>>>>>>>	>>>>>>>
無形民俗文化財伝承支援事業		支援事業の拡充		
>>>>>>>	>>>>>>>	>・>・>・>	>・>・>・>	>・>・>・>
3.3	2.5	未定	未定	未定
3.2	2.0			

※上段数値は事業費見込み額（予定する予算額又は影響額）。下段は決算額。（単位：百万円）

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
赤坂の舞台を活用した伝統芸能公演実施回数	目標	1回	1回	1回	1回	1回
	実績	1回	1回	（1回）		
地域伝統芸能活性化取組への支援等拡充工程	目標	調査対象検討	ニーズ調査等	支援事業の拡充	支援事業の拡充	支援事業の拡充
	実績	調査対象検討	ニーズ調査	(支援事業の拡充)		
無形民俗文化財伝承支援事業費補助団体数	目標	3団体	2団体	1団体	2団体	2団体
	実績	3団体	0団体	（1団体）		

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
【赤坂の舞台を活用した伝統芸能公演】令和5年度は、4年ぶりに赤坂の舞台において、小屋掛け（客席を野外とする形式の舞台で、竹と丸太を用いてドーム状の屋根を備えた特設の観客席の設置）と公演を実施（来場者約500名）し、小屋掛け作業の見学会も実施した。令和6年度は、天候不順により音羽文化ホールでの公演を実施（来場者約500名）し、小屋掛け作業に加えて当日の小屋掛け見学会を実施した。 **【地域伝統芸能活性化取組への支援】**令和5年度は、地域伝統芸能活性化の取組の一つとしての無形民俗文化財伝承支援事業費補助制度を活用し、地元祭礼に使用する山車や小道具の修繕費等を対象に、3団体に補助を実施した。令和6年度は補助申請はなかったが、支援のためのニーズ調査を18団体へ実施した。
今年度以降の取組予定
【赤坂の舞台を活用した伝統芸能公演】引き続き、赤坂の舞台を活用した公演を実施するとともに、地元企業やボランティア団体等と協働して、小屋掛けの継承と活性化を図る。 **【地域伝統芸能活性化取組への支援】**無形民俗文化財（伝統芸能保存）の実態・ニーズ調査等の結果を踏まえ、無形民俗文化財伝承支援事業費補助制度を拡充し、記録動画の作成等、地域伝統芸能の活性化の取組を支援する。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
工程計画に沿って進んでいると評価する。	R6	3
	R7	3
	R8	
	R9	

1. 工程計画

提 案 21	スポーツ・文化活動激励金の増額		担当部署	教育委員会庶務課・スポーツ課
実施内容	スポーツ・文化活動の全国大会等への参加に対する激励金を増額します。			
工程計画				
令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度
>>>>>>>	スポーツ活動激励金の増額・団体上限額の増額 >・>・>・>	>・>・>・>	>・>・>・>	>・>・>・>
>>>>>>>	文化活動激励金の増額・団体上限額の増額 >・>・>・>	>・>・>・>	>・>・>・>	>・>・>・>
2.3	4.9	4.9	4.9	4.9
3.7	5.0			

※上段数値は事業費見込み額（予定する予算額又は影響額）。下段は決算額。（単位：百万円）

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
全国大会出場等激励金の上限（／団体）	目標	10万円	20万円	20万円	20万円	20万円
	実績	10万円	20万円	（20万円）		
全国大会出場等激励金の単価（／人）	目標	5,000円	1万円	1万円	1万円	1万円
	実績	5,000円	1万円	（1万円）		
【参考】激励金の件数（団体、個人の合計）	目標	―	―			
	実績	93件	115件			

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
以下のとおり激励金を増額した。 **【スポーツ活動】**その他国際大会：1名につき2万円⇒3万円、全国大会等：1名につき5千円(団体競技上限10万円)⇒1万円(団体競技上限20万円) **【文化活動】**全国大会：1名につき5千円（団体上限10万円）⇒1名につき1万円（団体上限20万円）
今年度以降の取組予定
近隣市町の動向を注視しながら、増額後の激励金額を維持していく。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
令和6年度から増額させた激励金支給を継続実施しており、提案を実現できていると評価する。	R6	5
	R7	5
	R8	
	R9	

提案22

1. 工程計画

提 案 22	リレーマラソン等おもてなし事業の拡充（継続）	担当部署	教育委員会スポーツ課 産業環境部農務課・商工観光課
実施内容	リレーマラソンやシティマラソン等において、いなり寿司教室・豊川産農産物のＰＲ等を行う充実した「おもてなしブース」を開設するとともに、ゲストランナーの招聘を引き続き実施します。		

工程計画				
令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度
豊川産農産物のPR				
>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>
おもてなしブース開設				
>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>
リレーマラソン・シティマラソンにゲストランナー招聘				
>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>
6.9	4.0	4.0	4.0	4.0
4.4	2.8			

※上段数値は事業費見込み額（予定する予算額又は影響額）。下段は決算額。（単位：百万円）

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
豊川産農産物の配布及び販売数	目標	6,090個	4,090個	4,090個	4,090個	4,090個
	実績	6,090個	4,050個	（4,090個）		
おもてなしブース延べ出展件数	目標	7件	6件	6件	6件	6件
	実績	7件	6件	（6件）		
ゲストランナー招聘回数	目標	2回	2回	2回	2回	2回
	実績	2回	2回	（2回）		

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
【豊川産農産物のPR、おもてなしブース開設】リレーマラソン、シティマラソン大会、三遠ネオフェニックス豊川市DAY等において、豊川産農産物PRコーナーとおもてなしブースを出展し、豊川産農産物の配布・販売や豊川いなり寿司教室を開催する等のPRを実施した。 **【ゲストランナー招聘】**リレーマラソンに令和5年度はタレントの稲村亜美さん、令和6年度はスポーツキャスター・競泳元日本代表の寺川綾さん、シティマラソン大会に令和5年度はタレントの本田紗来さん、令和6年度はマラソンランナー・スポーツコメンテーターの千葉真子さんを招き、大会を盛り上げた。
今年度以降の取組予定
【おもてなしブース開設】引き続きリレーマラソン及びシティマラソン大会等において、豊川産農産物PRコーナーやおもてなしブースを出展する。 **【ゲストランナー招聘】**引き続きゲストランナーを招きリレーマラソン及びシティマラソン大会を実施する。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
工程計画に沿って進んでいると評価する。	R6	3
	R7	3
	R8	
	R9	

提案23

1. 工程計画

提 案 23	高校３年生世代までの通院医療費無料化	担当部署	福祉部保険年金課
実施内容	これまでの高校３年生世代までの入院医療費無料化に加え、高校３年生世代までの通院医療費無料化を実施します。		

工程計画				
令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度
高校3年生世代までの入院医療費無料化				
>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>
	通院医療費無料化対象の拡大			
>>>>>>	>・>・>・>	>・>・>・>	>・>・>・>	>・>・>・>
6.9	124.6	139.5	139.5	139.5
6.2	126.3			

※上段数値は事業費見込み額（予定する予算額又は影響額）。下段は決算額。（単位：百万円）

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
通院医療費無料化の対象	目標	中学3年生まで	高校3年生世代まで	高校3年生世代まで	高校3年生世代まで	高校3年生世代まで
	実績	中学3年生まで	高校3年生世代まで	(高校3年生世代まで)		
	目標					
	実績					
	目標					
	実績					

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
これまでの高校3年生世代までの入院医療費無料化を継続実施するとともに、高校3年生世代までの通院医療費無料化の実施に向け、システム改修や新高校生世代への申請書及び受給者証の発送作業、豊川市医師会をはじめとする市内3師会や愛知県国民健康保険団体連合会等の関係機関との調整を行い、令和6年4月から現物給付（利用者が医療費の立替払いと後日申請の必要がなく、窓口での支払いをする必要がない方式）での助成を実施した。
今年度以降の取組予定
引き続き高校3年生世代までの入通院医療費無料化を実施する。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
令和7年度も現物給付での高校3年生世代までの通院医療費無料化を継続実施しており、提案を実現できていると評価する。	R6	5
	R7	5
	R8	
	R9	

1. 工程計画

提 案 24	保育園・幼稚園給食費無料化		担当部署	子ども健康部保育課
実施内容	保育所や認定こども園、幼稚園に通う子の給食費の無料化を実施します。			

工程計画				
令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度
給食費の一部減免 >>>>>>	給食費の無料化 >・>・>・>	>・>・>・>	>・>・>・>	>・>・>・>
146.5	276.0	276.6	277.3	277.9
136.8	250.4			

※上段数値は事業費見込み額（予定する予算額又は影響額）。下段は決算額。（単位：百万円）

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
公費負担額（月額／人）	目標	2,300円	5,500円	5,500円	5,500円	5,500円
	実績	2,300円	5,500円	（5,500円）		
	目標					
	実績					
	目標					
	実績					

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
令和5年度は、給食費の一部を市が負担し、保育所、認定こども園、幼稚園に通う子の保護者延べ49,449人（1か月当たり約4,120人）の子育て世帯の経済的負担軽減を図った。 令和6年度は、給食費の全部を市が負担し、保育所、認定こども園、幼稚園に通う子の保護者延べ52,465人（1か月当たり約4,372人）の子育て世帯の経済的負担軽減を図った。
今年度以降の取組予定
引き続き子育て世帯の経済的負担を軽減するため、保育所、認定こども園、幼稚園に通う子の給食費に係る保護者負担額の全部を市が負担する。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
令和6年度から保育園・幼稚園給食費無料化を継続実施しており、提案を実現できていると評価する。	R6	5
	R7	5
	R8	
	R9	

提案25

1. 工程計画

提 案 25	ファーストバースデーお祝い金の４年間延長	担当部署	子ども健康部子育て支援課
実施内容	令和３年度から実施している１歳の誕生日を迎える子の保護者に対する「ファーストバースデーお祝い金（豊川市子育て応援金）」の支給を、令和９年度まで延長します。		

工程計画				
令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度
>>>>>>	ファーストバースデーお祝い金支給の継続 >>>>>	>>>>>	>>>>>	>>>>>
45.3	42.3	42.3	42.3	42.3
39.5	39.6			

※上段数値は事業費見込み額（予定する予算額又は影響額）。下段は決算額。（単位：百万円）

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
ファーストバースデーお祝い金支給額（子1人あたり）	目標	3万円	3万円	3万円	3万円	3万円
	実績	3万円	3万円	(3万円)		
	目標					
	実績					
	目標					
	実績					

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
令和3年度から令和6年度まで、延べ5,367人に対してお祝い金の支給を実施した。
今年度以降の取組予定
引き続き、令和9年度まで実施する。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
令和6年度からお祝い金の支給を継続実施しており、提案を実現できていると評価する。	R6	5
	R7	5
	R8	
	R9	

提案26

1. 工程計画

提 案 26	民間も含めた保育園の計画的な建替整備（継続）	担当部署	子ども健康部保育課
実施内容	保育園舎を整備する法人に対して建設に係る費用を補助するとともに、老朽化した公立保育所の建替整備を進めます。		

工程計画				
令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度
第２期保育所整備計画に基づく整備 >>>>>>	>>>>>>	>>>>>> 第３期保育所整備計画策定	計画に基づく整備	
		>>>>>	>>>>>	>>>>>
873.1	425.0	399.1	718.4	未定
867.3	490.7			

※上段数値は事業費見込み額（予定する予算額又は影響額）。下段は決算額。（単位：百万円）

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
園舎改築工事等に対して補助する私立保育園等の数	目標	1園	1園	1園		未定
	実績	1園	1園	(1園)		
園舎改築工事等を行う公立保育園の数	目標	1園			1園	未定
	実績	1園				
	目標					
	実績					

※2か年度に渡る建て替え事業は、最終年度に数値を計上

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
【私立保育園】令和4年度、5年度に三蔵子保育園の園舎改築工事、令和5年度、6年度にこざかいこども園の園舎整備工事に対して整備費の補助を実施した。 **【公立保育園】**令和4年度、5年度に小坂井東保育園の園舎改築工事を実施した。
今年度以降の取組予定
【私立保育園】令和7年度に麻生田保育園の園舎改築工事に対して整備費の補助を実施する。 **【公立保育園】**令和7年度及び8年度に睦美保育園の園舎改築工事を実施する。また、令和7年度に第3期保育所整備計画を策定し、令和8年度以降も計画的な建替整備を継続する。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
工程計画に沿って進んでいると評価する。	R6	3
	R7	3
	R8	
	R9	

提案27

1. 工程計画

提 案 27	私立幼稚園入園応援金支給事業	担当部署	子ども健康部保育課
実施内容	保護者負担が保育所より割高な幼稚園に入園する子の保護者に対し、応援金を支給します。		

工程計画				
令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度
	・・・・・・・	入園応援金支給事業の実施 >>>>>	>>>>>	>>>>>
—	—	12.0	12.3	12.6
—	—			

※上段数値は事業費見込み額（予定する予算額又は影響額）。下段は決算額。（単位：百万円）

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
入園応援金支給額（子１人あたり）	目標			3万円	3万円	3万円
	実績			（3万円）		
	目標					
	実績					
	目標					
	実績					

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
事業を開始するにあたり、近隣市の状況等の調査により、ニーズや支給対象、支給額等の検討を実施し、交付要綱を策定した。また、事業内容の周知を図るため、広報とよかわや市ホームページへの掲載、保護者向け事業案内チラシを各幼稚園の入園説明会（9月）にて配布を行った。
今年度以降の取組予定
応援金の支給を行いながら、引き続き次年度入園予定者等に事業案内を行う。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
令和7年度から入園応援金を支給しており、提案を実現できていると評価する。	R6	3
	R7	5
	R8	
	R9	

提案28

1. 工程計画

提 案 28	小坂井中学校整備事業	担当部署	教育委員会庶務課
実施内容	令和11年度の供用開始を目指し、小坂井中学校の全面的な建替整備を進めます。		

工程計画				
令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度
小坂井中学校建替整備 >>>>>>	>>>>>	>>>>>	>>>>>	>>>>>
7.6	146.2	未定	未定	未定
6.7	35.4			

※上段数値は事業費見込み額（予定する予算額又は影響額）。下段は決算額。（単位：百万円）

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
小坂井中学校建替整備工程	目標	基本計画改訂	基本設計	実施設計	実施設計	建替工事
	実績	基本計画改訂	基本設計	（実施設計）		
	目標					
	実績					
	目標					
	実績					

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
令和5年度に基本構想・基本計画を精査し、基本計画の改訂を行った。令和6年度はそれに基づき基本設計を行った。
今年度以降の取組予定
令和7年度から実施設計を開始し、令和9年度の工事着工を目指す。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
工程計画に沿って進んでいると評価する。	R6	3
	R7	3
	R8	
	R9	

提案29

1. 工程計画

提 案 29	小中学校特別教室空調設備設置事業	担当部署	教育委員会庶務課
実施内容	令和９年度夏までの稼働を目指し、全小中学校の特別教室に空調設備を設置します。		

工程計画				
令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度
基本設計・実施設計		空調設備設置工事		
65.0	25.5	1,064.6	309.6	188.8
0.0	60.5			

※上段数値は事業費見込み額（予定する予算額又は影響額）。下段は決算額。（単位：百万円）

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
空調設備設置整備工程	目標	基本設計	実施設計	実施設計・工事	工事	工事
	実績	基本設計	基本・実施設計	（基本・実施設計　工事）		
	目標					
	実績					
	目標					
	実績					

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
令和5年度から26校の小中学校において基本設計に着手し、令和6年度は26校の実施設計の完了と、残り10校の基本設計に着手した。また実施設計の完了した学校から、工事を前倒して発注することができた。
今年度以降の取組予定
令和7年度は26校の小中学校で空調設備を稼働し、令和8年度中に全小中学校での稼働を目指す。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
工事発注を令和6年度に前倒し、工程計画より早い進捗が図られていると評価する。	R6	3
	R7	4
	R8	
	R9	

提案30

1. 工程計画

提 案 30	教員働き方改革推進のため部活動外部指導者等の拡充	担当部署	教育委員会学校教育課
実施内容	部活動外部指導者と学級運営支援員を段階的に増員します。		

工程計画				
令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度
部活動検討委員会の開催 >>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>
>>>>>>	部活動外部指導者の増員 >・>・>・>	>・>・>・>	>・>・>・>	>・>・>・>
>>>>>>	学級運営支援員の増員 >・>・>・>	>・>・>・>	>・>・>・>	>・>・>・>
87.1	95.6	102.4	104.4	110.7
80.1	98.3			

※上段数値は事業費見込み額（予定する予算額又は影響額）。下段は決算額。（単位：百万円）

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
部活動外部指導者の配置人数	目標	30名(2h勤務)	35名(2h勤務)	35名(3h勤務)	40名(3h勤務)	45名(3h勤務)
	実績	29名(2h勤務)	35名(2h勤務)	(35名(3h勤務))		
学級運営支援員の配置人数（全体）	目標	94名	94名	94名	94名	99名
	実績	95名	102名	(94名)		
学級運営支援員の配置人数（上記のうち4月任用）	目標	36名	52名	64名	69名	74名
	実績	42名	52名	(64名)		

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
【部活動外部指導者】人員確保のため関係諸団体と連携を図り、令和5年度は29名、令和6年度は35名を配置した。 **【学級運営支援員】**各学校から要望の多い4月からの支援員配置を強化し、令和5年度は4月任用を42名、全体で95名を、令和6年度は4月任用を52名、全体で102名を配置した。
今年度以降の取組予定
【部活動外部指導者】令和7年度は、配置人数は据え置くが、配置時間を2時間から3時間へ延長する。 **【学級運営支援員】**令和7年度は、配置支援員数は据え置くが、4月任用の支援員を64名へ増員する。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
工程計画に沿って進んでいると評価する。	R6	3
	R7	3
	R8	
	R9	

提案31

1. 工程計画

提 案 31	スクールソーシャルワーカーの増員		担当部署	教育委員会学校教育課
実施内容	小中学校におけるスクールソーシャルワーカーを段階的に増員します。			
工程計画				
令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度
>>>>>>	スクールソーシャルワーカーの増員 >・>・>・>	>・>・>・>	>・>・>・>	>・>・>・>
3.7	7.7	8.2	12.2	12.3
3.6	7.7			

※上段数値は事業費見込み額（予定する予算額又は影響額）。下段は決算額。（単位：百万円）

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
スクールソーシャルワーカーの配置人数	目標	1名	2名	2名	3名	3名
	実績	1名	2名	（2名）		
	目標					
	実績					
	目標					
	実績					

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
児童生徒の家庭環境、発達障害等が要因となる不登校傾向を減らすため、令和6年度からスクールソーシャルワーカーを1名から2名に増員し、児童生徒や保護者への直接的支援を実施した。
今年度以降の取組予定
引き続き相談内容の多様化やケースの増加に対応できるように、令和8年度にさらに1名増員した3名体制を目指す。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
工程計画に沿って進んでいると評価する。	R6	3
	R7	3
	R8	
	R9	

提案32

1. 工程計画

提 案 32	地産地消の推進と学校給食費据え置き（物価高騰分公費負担）	担当部署	教育委員会学校給食課 産業環境部農務課
実施内容	学校給食への地元食材の活用等により地産地消を推進するとともに、給食費の保護者負担を据え置きとし、物価高騰分を公費負担します。		

工程計画				
令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度
給食費物価高騰部分公費負担				
>>>>>>>	>>>>>>>	>>>>>>>	>>>>>>>	>>>>>>>
学校給食における地産地消の推進				
>>>>>>>	>>>>>>>	>・>・>・>	>・>・>・>	>・>・>・>
地産地消調理教室（食育ツアー）の実施				
>>>>>>>	>>>>>>>	>>>>>>>	>>>>>>>	>>>>>>>
69.8	77.1	77.4	77.2	77.2
63.0	98.8			

※上段数値は事業費見込み額（予定する予算額又は影響額）。下段は決算額。（単位：百万円）

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
【小学校】学校給食費保護者負担額 ※（　）は公費負担額外書き	目標	245円(25円)	245円(35円)	245円(35円)	245円(35円)	245円(35円)
	実績	245円(25円)	245円(35円)	(245円(35円))		
【中学校】学校給食費保護者負担額 ※（　）は公費負担額外書き	目標	275円(30円)	275円(40円)	275円(40円)	275円(40円)	275円(40円)
	実績	275円(30円)	275円(40円)	(275円(40円))		
学校給食における豊川産農産物の使用割合	目標	10%以上	10%以上	10%以上	10%以上	10%以上
	実績	10.70%	9.79%	(10%以上)		

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
【学校給食】物価高騰等により値上げせざるを得なくなった保護者負担額（小学校245円/食、中学校275円/食）について、令和4年7月から値上げ分の公費負担を開始し、保護者負担額を据え置いている。また、引き続き地元食材を使用した給食献立コンクールの実施や、地元生産農家との給食会食会等を通じ児童生徒への地産地消の意識醸成を図るとともに、学校給食における豊川産農産物使用割合の増加に努めた。 **【地産地消料理教室（食育ツアー）】**令和6年度は小学生とその保護者を対象に、JAひまわり総合集出荷センターの工場見学と豊川産農産物（トマトやナスなど）を使用した料理体験を実施した。
今年度以降の取組予定
【学校給食】物価高騰状況により公費負担額に影響が出ると想定される中、令和7年度も引き続き物価高騰等に対応する必要があり、児童生徒の適切な栄養の摂取による健康の保持増進のための公費負担額を設定し、質を低下させることなく給食を提供する。また、令和7年度以降も給食献立コンクール、給食会食会等を実施するとともに、豊川産農産物使用割合の増加を目指す。 **【地産地消料理教室（食育ツアー）】**令和7度以降も引き続き実施し、地産地消の意識醸成を図る。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
学校給食費据え置きについては提案を実現できていると評価し、地産地消の推進については工程計画に沿って進んでいると評価する。	R6	4
	R7	4
	R8	
	R9	

提案33

1. 工程計画

提 案 33	シルバー人材センター事業への支援拡充（継続）	担当部署	福祉部介護高齢課
実施内容	シルバー人材センターが実施する高齢者世帯の日常的生活支援に係る事業を拡充して支援するとともに、会員確保や事業の充実に資する取組を支援します。		

工程計画				
令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度
>>>>>>	高齢者の生活支援に係る事業（ちょこっとサポート事業）の拡充 >・>・>・>	>・>・>・>	>・>・>・>	>・>・>・>
	会員確保取組支援 >>>>>	>>>>>	>>>>>	>>>>>
	施設整備支援 >>>>>			
35.6	45.2	43.3	43.3	43.3
35.9	48.4			

※上段数値は事業費見込み額（予定する予算額又は影響額）。下段は決算額。（単位：百万円）

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
ちょこっとサポート事業支援件数	目標	815件	1,200件	1,200件	1,200件	1,200件
	実績	1,439件	2,081件	(2,160件)		
シルバー人材センターの会員数 ※各年度4月1日現在	目標	1,250人	1,285人	1,325人	1,365人	1,405人
	実績	1,267人	1,324人	1396人		
施設整備支援	目標		実施			
	実績		実施			

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
令和3年度から、高齢者同士の支えあいとシルバー人材センターへの就業支援を目的として、シルバー人材センターへの委託により高齢者世帯の日常的な生活支援を行うちょこっとサポート事業を実施し、令和5年度、6年度ともに想定を大幅に上回る支援件数となった。 施設整備支援として令和6年度に、高齢である会員や依頼者の安全と利便性を考慮し、事務所機能の一部を高齢者交流施設の2階から1階への移転を行った。
今年度以降の取組予定
引き続きちょこっとサポート事業等の実施を通じて、高齢者の支え合いと就業支援を行う。また、シルバー人材センター活動の周知や新規会員獲得のため、これまでシルバー人材センターが独自の予算で実施してきた会員募集費用に加え、令和7年度からは受付業務強化のための職員人件費等の補助を行う。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
ちょこっとサポート事業の支援件数、シルバー人材センターの会員数ともに目標を上回っているため、マニフェストの事業効果を発揮できていると評価する。	R6	4
	R7	4
	R8	
	R9	

1. 工程計画

提 案 34	福祉タクシー・重度障害者用タクシー助成制度の拡充	担当部署	福祉部障害福祉課
実施内容	福祉タクシー・重度障害者用福祉タクシー運賃助成利用券の交付枚数を追加するとともに、福祉タクシー運賃助成利用券の１回あたり利用枚数の制限を撤廃します。		

工程計画				
令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度
	福祉タクシー助成事業の拡充			
>>>>>>	>・>・>・>	>・>・>・>	>・>・>・>	>・>・>・>
	重度障害者用福祉タクシー助成事業の拡充			
>>>>>>	>・>・>・>	>・>・>・>	>・>・>・>	>・>・>・>
14.0	20.1	20.7	21.3	21.9
13.4	20.7			

※上段数値は事業費見込み額（予定する予算額又は影響額）。下段は決算額。（単位：百万円）

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
福祉タクシー助成利用券の金額（／年／1人当たり）※令和6年度から1回当たりの利用枚数制限撤廃をあわせて実施	目標	14,000円	15,000円	15,000円	15,000円	15,000円
	実績	14,000円	15,000円	（15,000円）		
重度障害者用福祉タクシー助成利用券の金額（／年／1人当たり）	目標	60,000円	70,000円	70,000円	70,000円	70,000円
	実績	60,000円	70,000円	（70,000円）		
	目標					
	実績					

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
令和6年度に実施要綱の改正を行い、利用券の金額を増額するとともに、1回当たりの利用枚数制限を撤廃した。また対象者やタクシー会社、福祉サービス事業所、居宅介護支援事業所へ福祉タクシー・重度障害者用福祉タクシー助成制度の周知を実施した。
今年度以降の取組予定
引き続き拡充した内容でタクシー助成を実施するとともに、助成制度の周知を行い、利用率向上を図る。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
令和6年度から助成制度拡充を継続しており、提案を実現できていると評価する。	R6	5
	R7	5
	R8	
	R9	

提案35

1. 工程計画

提 案 35	障がい者サポート店舗への改修費助成事業	担当部署	福祉部障害福祉課
実施内容	市内事業者等が障害者のために行う社会的障壁の除去や、合理的配慮に関する環境整備を後押しする助成制度を創設します。		

工程計画				
令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度
・・・・・・・	助成制度の創設 ＞＞＞＞＞	＞＞＞＞＞	＞＞＞＞＞	＞＞＞＞＞
—	1.9	1.8	1.8	1.8
—	2.0			

※上段数値は事業費見込み額（予定する予算額又は影響額）。下段は決算額。（単位：百万円）

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
店舗等改修助成件数	目標		4件	4件	4件	4件
	実績		7件	(4件)		
コミュニケーションツール作成助成件数	目標		3件	3件	3件	3件
	実績		0件	(3件)		
物品購入費助成件数	目標		8件	8件	8件	8件
	実績		10件	(8件)		

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
令和5年度に近隣市の状況等の調査から、ニーズや補助対象、補助額等を検討した合理的配慮の提供支援に係る助成制度の要綱を制定し、令和6年度から、事業者やボランティア団体を対象として、合理的配慮に資する段差解消や点字ブロック敷設等の改修工事施工費用助成(上限20万円)、筆談ボード等物品購入費用助成(上限10万円)、点字メニュー作成等コミュニケーションツール作成費用助成(上限5万円)を開始した。また制度周知のためのチラシを作成・配布した。実施する。
今年度以降の取組予定
店舗等改修工事施工費用助成、物品購入費用助成、コミュニケーションツール作成費用助成を引き続き実施する。また、これまでに作成したチラシを活用し、助成事業の更なる周知を図る。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
工程計画に沿って進んでいると評価する。	R6	3
	R7	3
	R8	
	R9	

1. 工程計画

提 案 36	コミュニティソーシャルワーカーの増員	担当部署	福祉部地域福祉課
実施内容	重層的支援体制整備事業の担い手であるコミュニティソーシャルワーカーを増員します。		

工程計画				
令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度
>>>>>>	>>>>>>	コミュニティソーシャルワーカーの増員 >・>・>・>	>・>・>・>	>・>・>・>
43.2	49.1	58.4	67.7	67.7
43.9	49.1			

※上段数値は事業費見込み額（予定する予算額又は影響額）。下段は決算額。（単位：百万円）

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
コミュニティソーシャルワーカーの配置人数	目標	11人	11人	12人	13人	13人
	実績	11人	11人	（12人）		
	目標					
	実績					
	目標					
	実績					

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
社会福祉協議会への委託により、11名のコミュニティソーシャルワーカーを配置し、属性を問わない包括的な支援を実施した。また令和7年度からの1名増員に向け、採用募集を行った。
今年度以降の取組予定
令和7年度に地域福祉課内へ1名増員配置し、令和8年度に社会福祉士等の専門職1名を市職員として配置するため、社会福祉協議会と相談しながら、検討を進める。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
工程計画に沿って進んでいると評価する。	R6	3
	R7	3
	R8	
	R9	

1. 工程計画

提 案 37	成人歯科健診検査項目（パノラマ撮影）増設	担当部署	子ども健康部保健センター
実施内容	成人歯科健診の検査項目に、健診精度の高いパノラマ撮影を増設します。		

工程計画				
令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度
>>>>>>	パノラマ撮影増設 >・>・>・>	>・>・>・>	>・>・>・>	>・>・>・>
19.8	24.5	25.7	26.8	28.1
13.9	21.2			

※上段数値は事業費見込み額（予定する予算額又は影響額）。下段は決算額。（単位：百万円）

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
パノラマ撮影増設対象年齢	目標		20歳・30歳	20歳・30歳	20歳・30歳	20歳・30歳
	実績		20歳・30歳	（20歳・30歳）		
【参考】20歳・30歳の歯科健診受診率	目標	—	—	—	—	—
	実績	7.7%	11.8%			
	目標					
	実績					

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
豊川市歯科医師会と協議を重ね、パノラマ撮影の実施・運用方法を検討し、令和6年度に成人歯科健診(20歳、30歳)にパノラマ撮影の項目を増設することができた。
今年度以降の取組予定
引き続き、歯周病の発症率が高まる20歳、30歳を対象に個別通知し、歯科医療機関の受診率向上を目指す。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
令和6年度からパノラマ撮影実施を継続しており、提案を実現できていると評価する。	R6	5
	R7	5
	R8	
	R9	

提案38

1. 工程計画

提 案 38	消防団員・交通指導隊員等の処遇改善（継続）	担当部署	消防本部総務課 市民部人権生活安全課 教育委員会スポーツ課
実施内容	消防団員、交通安全指導隊員、スポーツ推進委員の処遇改善を実施します。		

工程計画

令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度
【消防団員】	調査・検討・消防団本部との調整		手当・報酬額等拡充	
【交通安全指導隊員】	調査・検討	手当・報酬額等拡充		
【スポーツ推進委員】	調査・検討	手当・報酬額等拡充		
52.9	53.0	55.1	未定	未定
47.8	48.5			

※上段数値は事業費見込み額（予定する予算額又は影響額）。下段は決算額。（単位：百万円）

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
消防団員の処遇改善	目標	既存取組	調査・検討	調査・検討	処遇改善実施	処遇改善継続
	実績	既存取組	調査・検討	（調査・検討）		
交通安全指導隊の処遇改善	目標	既存取組	調査・検討	処遇改善実施	処遇改善継続	処遇改善継続
	実績	既存取組	調査・検討	（処遇改善実施）		
スポーツ推進委員の処遇改善	目標	既存取組	調査・検討	処遇改善実施	処遇改善継続	処遇改善継続
	実績	既存取組	調査・検討	（処遇改善実施）		

3. 進捗状況

前年度までの実施状況

【消防団員】県内の状況等の調査や消防団本部等関係者の意見集約により効果的な処遇改善方法を検討した。
【交通安全指導隊】各分隊長等関係者の意見集約から交付金について検討を行い、交付要綱の改正を行った。
【スポーツ推進委員】近隣市の状況等の調査を踏まえ委員報酬について検討を行い、増額を決定した。

今年度以降の取組予定

【消防団員】令和8年度からの処遇改善を目指し、引き続き県内の状況等の調査や消防団本部等関係者の意見集約により、効果的な処遇改善方法を検討する。
【交通安全指導隊】令和7年度より、分隊交付金の隊員割を隊員1人あたり19,000円とする。（1人あたり4,000円の増額）
【スポーツ推進委員】令和7年度より、スポーツ推進委員の委員報酬を年額70,000円とする。（10,000円の増額）

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
令和7年度当初予算に交通安全指導隊、スポーツ推進員の処遇改善に係る予算を計上し、提案事業が着実に進んでいると評価する。	R6	3
	R7	4
	R8	
	R9	

提案39

1. 工程計画

提 案 39	消防団長沢分団詰所建替整備	担当部署	消防本部総務課
実施内容	地域における消防活動の拠点である消防団長沢分団詰所の建替整備を実施します。		

工程計画				
令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度
	建替整備 ＞＞＞＞＞	＞＞＞＞＞	＞＞＞＞＞	
―	8.2	50.2	5.1	
―	6.2			

※上段数値は事業費見込み額（予定する予算額又は影響額）。下段は決算額。（単位：百万円）

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
建替整備工程	目標		実施設計	建替工事	解体工事	
	実績		実施設計	（建替工事）		
	目標					
	実績					
	目標					
	実績					

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
令和6年度は建物構造等を検討し、建替工事に向けた実施設計を行った。
今年度以降の取組予定
令和7年度から建替工事に着手し、年度内の供用開始を目指す。また令和8年度に現在使用している分団詰所の解体を行う。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
令和7年度当初予算において、建替工事に係る経費を計上し、提案事業が着実に進んでいると評価する。	R6	3
	R7	4
	R8	
	R9	

提案40

1. 工程計画

提 案 40	町内会役員負担軽減事業	担当部署	市民部市民協働国際課
実施内容	地域コミュニティのＩＣＴ化支援を実施するとともに、町内会負担軽減プロジェクト会議を開催し、町内会役員の負担軽減に資する対策を検討・実施します。		

工程計画				
令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度
地域コミュニティICT活用促進事業費補助				
>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>
	町内会ICT講座の開催			
	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>
	町内会負担軽減プロジェクト会議の実施			
	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>
1.8	2.3	2.8	2.5	2.8
1.5	2.5			

※上段数値は事業費見込み額（予定する予算額又は影響額）。下段は決算額。（単位：百万円）

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
地域コミュニティICT活用促進事業費補助活用町内会数	目標	36団体	44団体	52団体	60団体	68団体
	実績	37団体	56団体	（52団体）		
町内会ICT講座実施回数	目標		2回	2回	2回	2回
	実績		2回	（2回）		
町内会役員負担軽減取組数	目標		2件	2件	2件	2件
	実績		6件	（2件）		

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
【地域コミュニティICT活用促進事業費補助】令和6年度は、新たに19町内会が事業費補助を活用して電子回覧板「結ネット」を導入し、回覧物の配布等に係る労力の削減など、町内会運営の負担軽減の取組を実施した。また、40社を超える事業所からの寄附や協賛により、「結ネット」運用費用の継続的な支援体制を構築することができた。 **【町内会ICT講座】**「結ネット」導入を検討している団体を対象に、ICT推進委員の役割や導入済団体に対する先進事例を紹介する講座を実施した。 **【町内会役員負担軽減プロジェクト庁内プロジェクトチーム】**町内会役員等に対する会議等の出席を6件減らし、負担を軽減した。
今年度以降の取組予定
【地域コミュニティICT活用促進事業費補助】引き続き、補助制度の周知・啓発を図るとともに、町内会における電子回覧板「結ネット」の導入やホームページ作成等、電子化により町内会運営の負担軽減に向けた取組を支援する。 **【町内会ICT講座】**各町内会のICT推進員を対象として、地域コミュニティ運営等におけるICT活用の効果や手法を学ぶ講座を実施する。 **【町内会役員負担軽減プロジェクト庁内プロジェクトチーム】**先進都市等の取り組み事例を参考に、町内会運営の負担を軽減する取組や、行政から町内会等に依頼している業務の負担軽減等について検討する。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
工程計画に沿って進んでいると評価する。	R6	3
	R7	3
	R8	
	R9	

提案41

1. 工程計画

提 案 41	ボランティア・地域貢献企業マッチングシステムの構築	担当部署	市民部市民協働国際課
実施内容	町内会やボランティア団体、地域貢献企業等の協働に向けたマッチングを図るシステムを構築します。		

工程計画				
令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度
・・・・・・・	新たなマッチングシステムの構築 ＞＞＞＞＞			
協働コーディネート支援事業 ＞＞＞＞＞＞	＞・＞・＞・＞	＞・＞・＞・＞	＞・＞・＞・＞	＞・＞・＞・＞
	・・・・・・・	市民協働事業応援補助金の創設 ＞＞＞＞＞	＞＞＞＞＞	＞＞＞＞＞
4.0	4.3	4.9	4.9	4.9
3.0	3.6			

※上段数値は事業費見込み額（予定する予算額又は影響額）。下段は決算額。（単位：百万円）

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
新たなマッチングシステムの構築工程	目標	検討	構築	運用開始		
	実績	検討	構築	（運用開始）		
協働のコーディネートによりマッチングした団体・企業数	目標	2団体	4団体	4団体	4団体	4団体
	実績	2団体	7団体	（4団体）		
市民協働事業応援補助事業の活用団体数	目標		事業検討	5団体	5団体	5団体
	実績		事業検討	（6団体）		

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
【新たなマッチングシステムの構築】これまで町内会やボランティア団体等が協働に取り組む際に、「協働の取り組み方が分からない」、「協働相手がみつけられない」、「活動に必要な資金が十分ではない」の主に3つの事柄が課題となっていましたが、よりスムーズかつ効果的にマッチングを行えるよう検討を行い、協働マッチングシステムガイド（マニュアル冊子）を作成した。 **【協働コーディネート支援事業】**令和6年からは町内会以外に市民活動団体も支援事業の対象とし、まちづくりコーディネーターや講師からの助言を基に事業内容の見直しや協働相手の選定を行い、町内会夏祭りの事業企画書や市民活動団体の年間活動計画書を作成した。 **【市民協働事業応援補助事業】**市民協働推進委員会内で補助金の内容について協議し、予算的な余裕がない市民活動団体や町内会がこれまで以上に積極的に活用でき、また規模の大きい事業を実施する団体の財政負担が軽減できる補助要綱を策定した。
今年度以降の取組予定
【新たなマッチングシステムの構築】令和7年度は活動に課題を抱えている町内会・市民活動団体等に対し、協働マッチングシステムガイドを用いて協働の手法を啓発する。 **【協働コーディネート支援事業】**引き続き令和6年度に作成した事業企画書に基づく事業を実施する。また、次年度の対象団体や取組方法の見直しについて検討を行う。 **【市民協働事業応援補助事業】**補助要綱に基づき事業を開始するとともに、補助事業を活用する団体等に向けた周知を行う。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
工程計画に沿って進んでいると評価する。	R6	3
	R7	3
	R8	
	R9	

提案42

1. 工程計画

提 案 42	住宅用地球温暖化対策設備等への補助拡充	担当部署	産業環境部環境課
実施内容	家庭における住宅用地球温暖化対策設備等への補助を拡充します。		

工程計画				
令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度
>>>>>>	住宅用地球温暖化対策設備導入促進費補助制度の拡充 >・>・>・>	>・>・>・>	>・>・>・>	>・>・>・>
18.5	22.2	22.2	22.2	22.2
14.2	17.1			

※上段数値は事業費見込み額（予定する予算額又は影響額）。下段は決算額。（単位：百万円）

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
住宅用地球温暖化対策設備設置補助件数	目標	290件	425件	377件	377件	377件
	実績	240件	307件	（377件）		
	目標					
	実績					
	目標					
	実績					

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
令和2年度から段階的に補助メニューや受入枠を拡充し、令和6年度は電気自動車等充給電設備（V2H)の単独補助等の新設、更にホームエネルギーマネジメントシステム（HEMS)とリチウム蓄電池システムの受入枠を増やした。目標件数を下回ったものの、令和5年度の受付件数を上回り過去5か年で1番多い活用実績となった。（令和2年度：167件、令和3年度：168件、令和4年度：196件）
今年度以降の取組予定
令和6年度までは、補助メニューごとに受付件数を設定しており、受付件数の偏りにより年度途中で予算が終了する補助メニューがある一方で、年度末まで予算が残ってしまうものもあった。令和7年度からは、予算枠を一本化することで柔軟に対応する。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
令和7年度当初予算において、受付件数に柔軟に対応できるように工夫する等、マニフェストの事業効果を発揮できていると評価する。	R6	4
	R7	4
	R8	
	R9	

提案43

1. 工程計画

提 案 43	次世代自動車購入費補助		担当部署	産業環境部環境課
実施内容	次世代自動車の購入費用に対する補助を実施します。			

工程計画				
令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度
・・・・・・・	補助制度の創設 ＞＞＞＞＞	＞＞＞＞＞	＞＞＞＞＞	＞＞＞＞＞
—	6.0	6.0	6.0	6.0
—	2.8			

※上段数値は事業費見込み額（予定する予算額又は影響額）。下段は決算額。（単位：百万円）

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
次世代自動車購入費補助件数	目標		142件	142件	142件	142件
	実績		73件	（142件）		
	目標					
	実績					
	目標					
	実績					

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
令和5年度に策定した要綱に基づき、令和6年度から個人、中小企業に対し補助事業を開始し、電気自動車は38件、プラグインハイブリッド自動車は35件の購入補助を実施した。
今年度以降の取組予定
制度が開始されたばかりで、個人、中小企業の制度に対する認知度が低いと考えられることから、目標の補助件数を達成できるよう周知活動を実施する。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
令和6年度から次世代自動車購入費補助を継続実施しており、提案を実現できていると評価する。	R6	5
	R7	5
	R8	
	R9	

提案44

1. 工程計画

提 案 44	中小企業向け省エネセミナー開催	担当部署	産業環境部環境課
実施内容	事業所におけるカーボンニュートラルの取組を支援する中小企業向け省エネセミナー等を実施します。		

工程計画				
令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度
	省エネセミナーの開催 ＞＞＞＞＞	＞＞＞＞＞	＞＞＞＞＞	＞＞＞＞＞
・・・・・・・	省エネ設備導入支援事業費補助制度の創設 ＞＞＞＞＞	＞＞＞＞＞	＞＞＞＞＞	＞＞＞＞＞
―	4.6	8.6	8.6	8.6
―	4.0			

※上段数値は事業費見込み額（予定する予算額又は影響額）。下段は決算額。（単位：百万円）

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
中小企業向け省エネセミナー開催回数	目標		1回	2回	2回	2回
	実績		1回	（2回）		
省エネ設備導入費補助件数	目標		3件	6件	6件	6件
	実績		3件	（6件）		
	目標					
	実績					

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
令和6年度に開催した省エネセミナーは39名が参加、個別相談会は7社、そのうち3社の省エネウォークスルー診断の実施により、事業者がエネルギー効率化の経営メリットや企業の社会貢献について理解を深める取組を支援した。また、省エネ設備導入支援費補助制度を創設し、3事業者へ補助を実施した。
今年度以降の取組予定
省エネセミナーと、受講者を対象とする個別相談会の開催を2回に増やし、省エネウォークスルー診断を実施する。また省エネ設備導入支援費補助により、より多くの事業者に対し脱炭素経営の支援を行う。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
工程計画に沿って進んでいると評価する。	R6	3
	R7	3
	R8	
	R9	

提案45

1. 工程計画

提 案 45	公共施設のカーボンニュートラル推進	担当部署	産業環境部環境課 財務部財産管理課 施設所管課
実施内容	公共施設において、ＬＥＤ照明導入による省エネ化や太陽光発電等再生可能エネルギーの活用などによるカーボンニュートラルを進めます。		

工程計画				
令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度
	環境基本計画改定（脱炭素地域ロードマップの策定） ＞＞＞＞＞			
公共施設の照明現状調査・LED照明導入計画 ・・・・・・・・	・・・・・・・・	公共施設への計画的なLED照明設置導入 ＞＞＞＞＞	＞＞＞＞＞	＞＞＞＞＞
公共施設への太陽光発電システム導入可能性調査 ・・・・・・・・	・・・・・・・・	公共施設への計画的な太陽光発電システム設置導入 ＞＞＞＞＞	＞＞＞＞＞	＞＞＞＞＞
市民向け電気自動車用充電器の設置 ＞＞＞＞＞＞	＞・＞・＞・＞	＞・＞・＞・＞	＞・＞・＞・＞	＞・＞・＞・＞
0.0	13.5	未定	未定	未定
0.0	12.8			

※上段数値は事業費見込み額（予定する予算額又は影響額）。下段は決算額。（単位：百万円）

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
公共施設へのLED照明導入	目標	FM関連事業	FM関連事業	導入	導入	導入
	実績	8施設	2施設	（導入）		
公共施設への太陽光発電システム設置	目標		調査・検討	導入	導入	導入
	実績		調査・検討	（導入、調査・検討）		
市民向け電気自動車用充電器の増設件数	目標		1件（取替）	1件	2件	2件
	実績		1件（取替）	（10件）		

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
【環境基本計画改定】令和6年度に、脱炭素地域ロードマップを内包した環境基本計画2020改訂版を策定した。 **【公共施設へのLED照明導入】**令和5年度、6年度に、FM（ファシリティマネジメント）関連事業として施設改修等と一体的にLED照明に切り替える手法で、10施設にLED照明を導入した。また、LEDのリース化に向け簡易調査を実施した。 **【公共施設への太陽光発電システム設置】**令和5年度、6年度でPPA（初期投資0円で発電設備を設置しその電気を利用する手法）の活用検討をするにあたり、簡易調査を実施した。 **【市民向け電気自動車用充電器の増設】**初期費用がかからない形で、市役所北庁舎東側の急速充電器の取替を行った。
今年度以降の取組予定
【公共施設へのLED照明導入】FM（ファシリティマネジメント）関連事業と並行して、令和6年度に実施した簡易調査結果を元に、LEDのリース化の検討や予算化を予定している。 **【公共施設への太陽光発電システム設置】**総合保健センターや消防本署等に導入予定であり、その他の施設においても太陽光発電のリース化を検討する。 **【市民向け電気自動車用充電器の増設】**初期設置費用、電気料の立て替えが不要な形で、令和7年度は10施設への設置を予定している。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
工程計画に沿って進んでいると評価する。	R6	3
	R7	3
	R8	
	R9	

提案46

1. 工程計画

提 案 46	パーク・アンド・ライドの推進（継続）	担当部署	都市整備部市街地整備課
実施内容	交通系ＩＣ未整備駅への早期導入の促進を図るとともに、鉄道駅に近接する公共駐車場の拡充整備等を実施し、パーク・アンド・ライドを推進します。		

工程計画

令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度
交通系IC未整備駅への早期導入要望活動等				
公共駐車場精算機の交通系IC対応				
愛知御津駅前公共駐車場第2整備			八幡駅前公共駐車場整備検討	
16.8	50.0	0.0	17.3	5.0
16.6	44.2			

※上段数値は事業費見込み額（予定する予算額又は影響額）。下段は決算額。（単位：百万円）

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
交通系IC未整備駅への早期導入要望活動等工程	目標	要望活動等	要望活動等	整備		
	実績	要望活動等	要望活動・整備	―		
公共駐車場精算機の交通系IC対応工程	目標		豊川駅東		西小坂井駅前	
	実績		豊川駅東			
八幡駅前公共駐車場整備検討	目標				調査・研究	検討業務
	実績					

3. 進捗状況

前年度までの実施状況

【交通系IC未整備駅への早期導入要望活動等】JR東海への整備要望活動等を実施し、令和7年3月15日より飯田線三河一宮駅から本長篠駅間での交通系ICカード利用エリアが拡大された。
【公共駐車場精算機の交通系IC対応工程】令和6年度に豊川駅東駐車場において交通系IC対応の精算機を整備した。

今年度以降の取組予定

【公共駐車場精算機の交通系IC対応工程】令和7年度は、西小坂井駅前公共駐車場精算機の交通系IC対応整備に向けた調整を行う。
【八幡駅前公共駐車場整備検討】整備検討に向けた情報収集を行う。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
交通系IC未整備駅への利用エリア拡大が実現するとともに、豊川駅東駐車場の交通系IC対応化を行っており、マニフェストの事業効果を発揮できていると評価する。	R6	3
	R7	4
	R8	
	R9	

提案47

1. 工程計画

提 案 47	職員の適正配置と職員研修の充実	担当部署	総務部人事課
実施内容	職員の適正配置と定員管理を行うとともに、愛知県等への職員派遣、政策立案研修、ハラスメント防止研修等を継続して実施します。		

工程計画				
令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度
>>>>>>	第７次定員適正化計画策定 >>>>>	第7次計画に基づく適正配置 >>>>>	>>>>>	>>>>>
愛知県等への職員派遣 >>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>
>>>>>>	政策立案研修の充実 >・>・>・>	>・>・>・>	>・>・>・>	>・>・>・>
ハラスメント防止研修の実施 >>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	>>>>>>
0.8	1.2	1.2	1.2	1.2
0.8	1.1			

※上段数値は事業費見込み額（予定する予算額又は影響額）。下段は決算額。（単位：百万円）

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
職員定員数（目標）と実人数（実績） ※実績（実人数）は毎年4/1現在値	目標	1,227人	1,246人	1,267人	1,294人	1,308人
	実績	1,209人	1,255人	（1,274人）		
愛知県等への職員派遣人数	目標	4人	4人以上	4人以上	4人以上	4人以上
	実績	5人	6人	（7人）		
政策立案研修及びハラスメント防止研修の実施回数	目標	3回	3回	3回	3回	3回
	実績	3回	3回	（3回）		

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
【職員定員数と実人数】第6次定員適正化計画に基づき、令和6年度は、1,255人を配置した。 **【愛知県等への職員派遣】**令和6年度は、愛知県へ5人、国の機関へ1人の派遣を実施した。 **【政策立案研修及びハラスメント防止研修の実施回数】**令和6年度は、政策立案研修を各部から推薦された13人と30代以下の公募職員にて1回実施した。ハラスメント防止研修は、課長級職員17人に対し1回、新任係長級職員30人に対し係長研修のカリキュラムの一環として1回実施した。
今年度以降の取組予定
【職員定員数と実人数】令和7年度(4月1日現在)は、1,274人を配置し、第7次定員適正化計画に基づき、令和8年度以降の職員数の適正化を図る。 **【職員派遣の増員】**令和7年度は、愛知県へ5人、公益財団法人愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会へ1人、国の機関へ1人の派遣を実施する。 **【政策立案研修及びハラスメント防止研修の実施回数】**令和7年度は引き続き、政策立案研修は各部からの推薦職員とあわせて30代以下の職員を公募し内容を充実させる等、研修の充実を図る。また、ハラスメント防止研修は前年度と同規模で実施する。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
工程計画に沿って進んでいると評価する。	R6	3
	R7	3
	R8	
	R9	

提案48

1. 工程計画

提 案 48	ファシリティマネジメント（一宮地区公共施設再編事業）	担当部署	財務部財産管理課
実施内容	令和11年度の全面供用開始を目指し、一宮地区の公共施設再編整備を進めます。		

工程計画				
令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度
一宮地域交流会館（仮称）整備 >>>>>>>	>>>>>>>	>>>>>>>	>>>>>>>	>>>>>>>
56.6	131.3	未定	未定	未定
57.1	132.0			

※上段数値は事業費見込み額（予定する予算額又は影響額）。下段は決算額。（単位：百万円）

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
一宮地域交流会館（仮称）整備工程	目標	基本設計	実施設計	工事（複合施設）	工事（複合施設）	工事（体育施設）
	実績	基本設計	実施設計	（工事（複合施設））		
	目標					
	実績					
	目標					
	実績					

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
令和5年3月に策定した一宮地区公共施設再編整備基本計画に基づき、令和5年度に基本設計、令和6年度に実施設計を実施した。
今年度以降の取組予定
令和7年度から一宮地域交流会館（仮称）の整備工事に着手し、令和9年度に複合施設、令和11年度に体育施設の供用開始を目指す。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
工程計画に沿って事業が進捗していると評価する。	R6	3
	R7	3
	R8	
	R9	

基本理念3　市民と創る協働と健全財政のまち

戦略10　行財政改革と健全財政の堅持

提案49

1. 工程計画

提 案 49	合併推進債を活用した本庁舎建替整備	担当部署	財務部財産管理課
実施内容	有利な起債である合併推進債を活用し、新本庁舎等の建替整備を進めます。		

工程計画

令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度
本庁舎等整備基本構想 >>>>>>				
本庁舎等整備基本計画 >>>>>>	>>>>>>			
	分庁舎整備実施設計 >>>>>>	分庁舎整備工事 >>>>>>	>>>>>>	
	本庁舎整備基本設計・実施設計 >>>>>>	>>>>>>	>>>>>>	本庁舎整備工事 >>>>>>
37.0	167.6	未定	未定	未定
16.1	116.8			

※上段数値は事業費見込み額（予定する予算額又は影響額）。下段は決算額。（単位：百万円）

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
分庁舎整備工程	目標	基本構想・基本計画	実施設計	整備工事	整備工事・供用開始	供用開始
	実績	基本構想・基本計画	実施設計・整備工事	（整備工事）		
本庁舎整備工程	目標	基本構想・基本計画	基本計画・基本設計・実施設計	基本設計・実施設計	基本設計・実施設計	整備工事
	実績	基本構想・基本計画	基本計画・基本設計・実施設計	（基本設計・実施設計）		
	目標					
	実績					

3. 進捗状況

前年度までの実施状況

令和6年8月に基本計画を策定し、令和7年2月には本庁舎等整備の基本・実施設計に着手した。また、分庁舎整備工程を一部前倒し、車庫棟の整備工事に着手した。

今年度以降の取組予定

本庁舎等整備工事の基本・実施設計及び分庁舎等整備工事等を実施し、令和9年度の分庁舎、令和13年度の本庁舎全面供用開始を目指す。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
分庁舎の整備工程を前倒しする等、円滑に進捗しており、工程計画に沿って進んでいると評価する。	R6	3
	R7	3
	R8	
	R9	

提案50

1. 工程計画

提 案 50	臨時財政対策債（赤字地方債）未発行	担当部署	財務部財政課
実施内容	臨時財政対策債の未発行により、健全な財政運営を堅持します。		

工程計画				
令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度
>>>>>>	臨時財政対策債の未発行 >>>>>	>>>>>	>>>>>	>>>>>
—	—	—	—	—
—	—			

※上段数値は事業費見込み額（予定する予算額又は影響額）。下段は決算額。（単位：百万円）

2. 主な活動内容の目標と実績

内容	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
臨時財政対策債の当初予算計上額	目標	—	0円	0円	0円	0円
	実績	2億円	0円	(0円)		
【参考】臨時財政対策債の決算額	目標	2億円	0円	0円	0円	0円
	実績	0円	0円	(0円)		
	目標					
	実績					

3. 進捗状況

前年度までの実施状況
令和5年度、6年度決算において、臨時財政対策債を未発行とした。
今年度以降の取組予定
市税等の動向に注視しつつ、財政調整基金などの残高確保に努めるとともに、国県補助等の積極的な活用などにより、引き続き臨時財政対策債の未発行を目指す。

4. 評価

進捗状況に対する自己評価	評点	
令和7年度においても当初予算に臨時財政対策債を計上せず、提案を実現できていると評価する。	R6	5
	R7	5
	R8	
	R9	